

〔チーム研究6〕 育児不安に関する臨床的研究 VI (主任研究者 川井 尚)

子ども総研式・育児支援質問紙(試案)の臨床的有用性に関する研究

愛育相談所 川井 尚・庄司順一・千賀悠子・加藤博仁
研究企画・情報部 中村 敬・安藤朗子 (リサーチレジデント)
子ども家庭福祉研究部 谷口和加子
愛育病院母子保健科 佐藤紀子
嘱託研究員 恒次欽也 (愛知教育大学)

【要約】我々は昨年の研究に基づいて作成した子ども総研式・育児支援質問紙の臨床的有用性を確かめるために、小児科外来や市町村保健センターなどで0歳児、1歳児、2歳児、3歳～6歳児の子どもを持つ母親に本質問紙を実施した。各年齢群を通じて、相談所見及び自由回答や面接などから、育児困難感の高い母親はさまざまな問題を抱えており、本質問紙を臨床に用いることを認めた。加えて、育児困難感を中心にした、いくつかのプロフィールパターンの検討と統計的処理の結果、本質問紙の臨床的な有用性が認められた。そこで、この結果を受けて子ども総研式・育児支援質問紙ミレニアム版を作成した。

見出し語： 育児不安, 育児困難感, プロフィール尺度

A Clinical Study on Maternal Anxiety Related to Child Rearing(' Ikuji Fuan') VI
Hisashi KAWAI, Junichi SHOJI, Yuko CHIGA, Hirohito KATO,
Takashi NAKAMURA, Akiko ANDO, Wakako TANIGUCHI,
Noriko SATO, Kinya TSUNETSUGU

Abstract: The purpose of this study was to make sure the clinical usefulness of the questionnaire to measure mother's feelings of difficulty in child rearing (JCFRI Child Rearing Support Questionnaire). For that purpose we carried out that questionnaire to mothers of infants (0 year old), 1 year old, 2 years old, 3 to 6 years old at children's hospitals and public health centers. Through the consultation views, the free replays and the interviews, we found mothers who had strong feelings of difficulty in child rearing had so many troubles. And we found that this questionnaire was useful for clinical situations. The clinical usefulness was also confirmed by examining, and analyzing statistically as well, some profile patterns focused on mother's feelings of difficulty in child rearing. In that process, we completed the millennium edition JCFRI Child Rearing Support Questionnaire.

I 研究目的

我々は昨年度報告に今後の課題を次のように指摘した。

「この評定尺度を保健センター等の乳幼児健診やその他の子どもの相談の場において適用し、その臨床的な妥当性と有用性を確認することが主な今後の課題となる。」(川井ほか, 1999)

そこで、これまでに明らかにした育児不安の本態と、そのアセスメントのために前年度に作成した育児不安プロフィール評定尺度「子ども総研式・育児支援質問紙(試案)」の臨床的な有用性を検討し、臨床に適用しうること確かめることを目的に研究を行った。

II 研究方法

1 調査項目の選定

前年度作成した「子ども総研式・育児支援質問紙(試案)」の0歳児版、1歳児版、2歳児版、3-6歳児版(以下3歳児以上版)を使用した。この質問紙は年齢区分を発達的な相違を考慮に入れて年齢区分4段階に分けてある。

調査項目領域は次のようである。なお、各領域の項目については末尾付録の質問紙を参照されたい。

1. 育児の印象について
2. 最近のお父さんのようすについて
3. あなたからみた最近の夫のようすについて
4. 赤ちゃんの時の様子
5. 最近のご自身の様子
6. ご家族について
7. 自由記述(お子さんについて困っていること、心配なこと、相談したいこと)

まとめると、0歳児版は59項目、1歳児版は56項目、2歳児版は52項目、3歳児以上版は63項目である。これに加えて全年齢共通に母親、父親、子どもの年(月)齢、子どもの性、同居家族、日中の主な養育者、母親の仕事、妊娠・出産時の異常の有無、妊娠週数、出生体重の項目がある。

2 調査対象

対象は、0歳児を持つ母親159名内有効標本133名(男児62名、女児63名、不明8名)、1歳児:151名内有効標本127名(男児65名、女児48名、不明14名)、2歳児:138名内有効標本123名(男児55名、女児56名、不明12名)、3歳児以上:329名内有効標本284名(男児122名、女児134名、不明28名、3歳児71名25.0%、4歳児73名25.7%、5歳児59名20.8%、6歳児30名10.6%、不明51名18.0%)、計777名内有効標本667名である。性別は男児304名(51.4%)、女児301名(48.6%)、不明62名であった。母親の就労は、0歳児:フルタイム9.8%、パートタイム3.0%、自営2.3%、主婦71.4%である。1歳児:フルタイム15.7%、パートタイム8.7%、自営0.8%、主婦59.1%であった。2歳児:フルタイム17.1%、パートタイム3.3%、自営3.3%、主婦65.0%、3歳児以上:フルタイム13.4%、パートタイム13.0%、自営4.9%、主婦57.7%であった。

3 調査方法

調査にあたって子ども総研式・育児支援質問紙使用手引き(試案)を作成した。この手引きは本質問紙の沿革や採点並びに標準得点換算、これに基づいたプロフィール作成方法を解説したものである。これを各協力調査機関に配布し、本質問紙の実施にあたって使用してもらった。

調査地域は、秋田県秋田市、同由利郡、東京都区内、千葉県印旛郡、愛知県豊橋市、愛媛県松山市、高知県宿毛市、沖縄県糸満市である。調査場所は乳幼児健診、保育所、幼稚園、小児科外来などである。

実施並びに回収方法は小児科外来では外来で、健診ではその場ないしはあらかじめ郵送し健診時に回収、保育所、幼稚園は園を通して配布回収した。また、一部の小児科外来ならびに、乳幼児健診などでは可能であれば母親と面接を行い、必要に応じて相談を行った。

回収率は、正確な配布数がかかれないが各年齢ともにおおよそ75%である。

4 整理方法

分析は0歳児群、1歳児群、2歳児群、3歳児以上群、各群ごとに行った。

プロフィールを描くために素点を算出し、これを換算表に基づいて標準得点に変換した。また、育児困難感(IならびII)のランクを標準得点に基づいて1から5段階に分け、これを5つの群に分けてそれぞれの群の他の領域の平均標準得点を算出し、プロフィールを描いた。

また、子育ての悩みや不安などを記入する自由記述項目であがってきた母親たちの育児に関する悩みや不安をすべてとりあげた。さらに、面接により得られた資料等もすべて抜き出し、これらを個人のプロフィールパターンとつきあわせることにより臨床的有用性を検討するための資料とした。

III 研究結果ならびに考察

1 育児困難感のプロフィール評定

昨年度作成した育児困難感のプロフィール評定用の素点(RS)から標準得点(SS)に変換した数値を用いて、育児困難感がランク1から5それぞれの群ごとに他の尺度の平均値を算出した。

1) 0歳児(表1, 図1)

0歳児のプロフィールをみると育児困難感Iがランク5の母親は他の領域、とくに母親の不安・抑うつ傾向とDifficult Babyが高いことが認められた。

2) 1歳児(表2と3, 図2と3)

1歳児の育児困難感Iではランク5ではDifficult Baby, 母親の抑うつが高い。一方、ランク4の方が夫・父親の役割、夫の心身不調、家庭機能の問題が高くなっている。

同じく1歳児の育児困難感IIではほぼ全領域にわたり高い。とく

に母親の抑うつが高いことに注目される。育児困難感Ⅰの場合よりも同Ⅱの方が他の領域も高くなる傾向が認められる。

3) 2歳児 (表4と5, 図4と5)

育児困難感Ⅰでは同Ⅱのみが高く、ほかはむしろランク4以下よりも低くなっている領域がある(夫・父親・家庭)。ランク4の方が他の領域でも全般に高くなっている。

なお、ここで特徴的なのはランク1で夫・父親・家庭や夫の心身不調、Difficult Babyが高くなっていることである。従って、育児不安が低い、あるいは「ない」とする母親にも注意を向ける必要があるうし、このこと自体問題となる可能性がある。

2歳児の育児困難感Ⅱでは同Ⅰと異なり、ランク5はほぼ全般にわたって高くなっている。ただし、ランク間の差は小さい。

4) 3歳児以上 (表6と7, 図6と7)

育児困難感Ⅰでは夫・父親の役割を除いて多くはランク5において他の領域が高い。同Ⅱは全般的にランク5は他の領域も高いがランク4と比べてあまり差はない。

全体を通してプロフィールを見る限りではおおむね、育児困難感Ⅰないし同Ⅱのランクが高くなるにつれて他の領域も高くなる傾向は認められた。

昨年度の同様の分析では「各年齢群を通してほぼ似たような傾向を示しており、「母親の(不安)抑うつ傾向」がもっとも中心的な課題であるといえよう。」とまとめた。母親の不安・抑うつ傾向は変わらず重要要因であるが、しかし、今回の資料をみるとこの傾向はみられるものの、全年齢群をとおして顕著な傾向は認められなかった。この結果の最大の理由は今回の対象者数が昨年度と比べてかなり減少していることにあると思われる。ランク5や1は上位、下位から標本の5%程度を拾うようになっている。そのために該当する人数がかなり少なく、個人間差がもろに影響してしまったと言える。とはいうものの類似した傾向はみられることから育児困難感の高い母親は母親自身の不安・抑うつ傾向を中心に他の領域でも問題を抱えているといつてよいであろう。

表1 0歳児 育児困難感Ⅰとほかの要因とのプロフィール

育児困難感Ⅰ	夫・父親・家庭機能	母親の不安・抑うつ傾向	Difficult Baby	夫の心身の不調
1	1.86	2.07	2.21	2.57
2	2.39	2.57	2.75	2.68
3	2.90	3.15	3.13	3.04
4	3.17	3.60	2.97	3.07
5	3.11	4.00	4.00	3.44

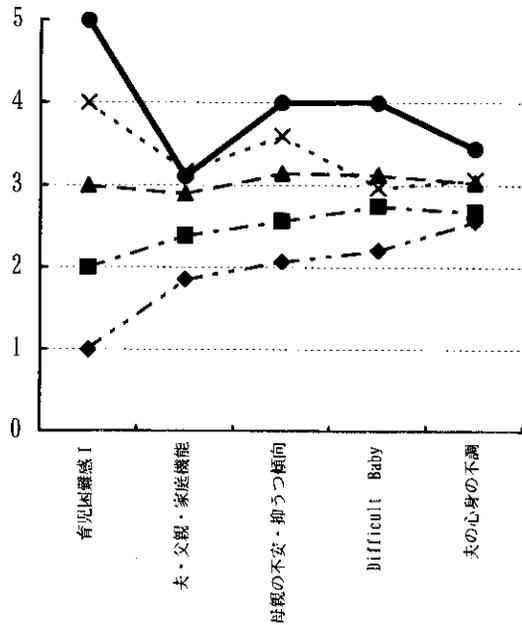


図1 0歳児 (育児困難感Ⅰ)

表2 1歳児 育児困難感Ⅰとほかの要因とのプロフィール

育児困難感Ⅰ	育児困難感Ⅱ	夫・父親の役割	夫の心身の不調	Difficult Baby
1	1.69	1.92	1.38	1.54
2	2.48	2.74	2.33	2.70
3	2.89	3.09	2.87	2.78
4	3.58	3.13	2.85	3.18
5	3.50	2.50	2.50	4.00

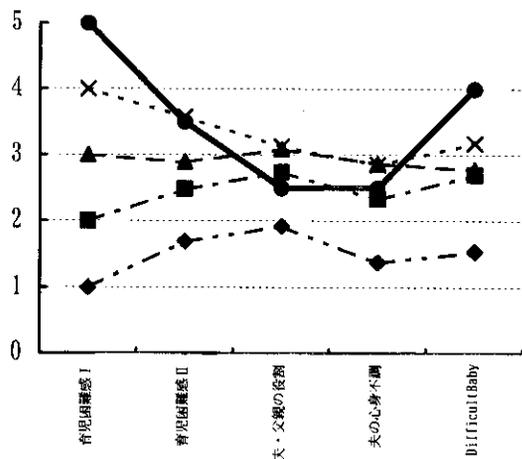


図2 1歳児 (育児困難感Ⅰ)

表3 1歳児 育児困難感IIとほかの要因とのプロファイル

育児困難感II	育児困難感I	夫・父親の役割の役割	夫の心身不調	Difficult Baby	母親の抑うつ	家庭機能
1	1.69	2.00	1.46	1.62	1.38	2.31
2	2.36	2.77	2.36	2.55	1.68	2.64
3	3.00	2.92	2.75	2.92	2.80	3.02
4	3.63	3.30	2.87	3.13	3.37	3.53
5	4.00	3.33	3.33	3.33	4.00	3.00

表5 2歳児 育児困難感IIとほかの要因とのプロファイル

育児困難感II	育児困難感I	家庭	夫の心身不調	母親の不安・抑うつ	Difficult Baby
1	1.63	2.00	2.38	1.13	2.50
2	2.52	2.81	2.85	2.41	2.89
3	2.85	2.98	2.98	2.77	3.02
4	3.45	3.23	3.13	3.39	2.87
5	3.50	3.50	3.50	3.25	2.75

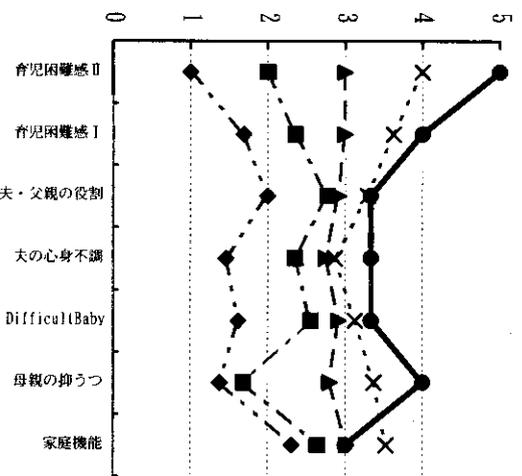


図3 2歳児 (育児困難感II)

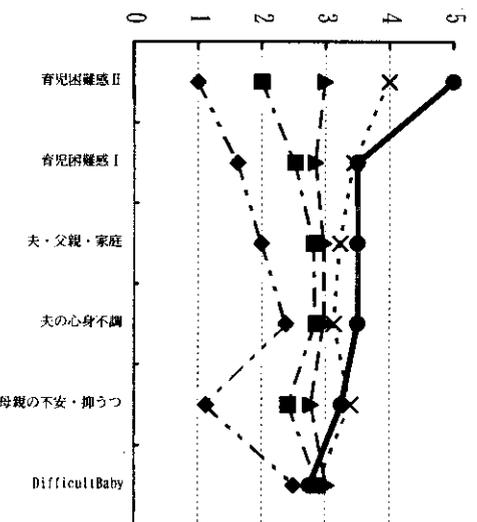


図4 2歳児 (育児困難感I)

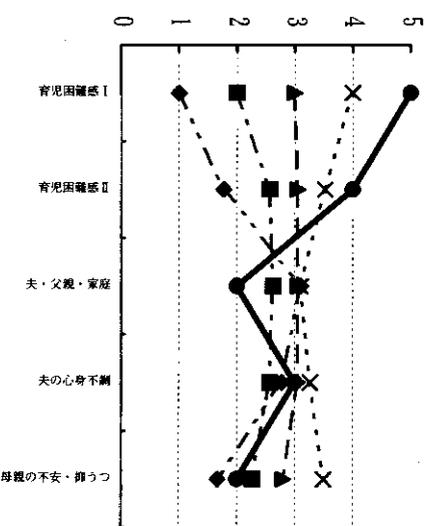


図4 2歳児 (育児困難感I)

表4 2歳児 育児困難感Iとほかの要因とのプロファイル

育児困難感I	育児困難感II	夫・父親・家庭	夫の心身不調	母親の不安・抑うつ
1	1.78	3.11	2.78	1.67
2	2.57	2.63	2.57	2.27
3	3.06	3.06	3.06	2.81
4	3.53	3.10	3.27	3.50
5	4.00	4.00	2.00	3.00

表6 3歳児以上 育児困難感Iとほかの要因とのプロファイル

育児困難感I	育児困難感II	夫・父親の役割	Difficult Baby	母親の抑うつ	家庭機能	夫の心身不調
1	1.83	1.92	2.33	1.58	1.33	2.25
2	2.27	2.45	2.55	2.21	1.81	2.44
3	3.07	2.99	2.95	2.71	2.51	2.76
4	3.59	3.30	3.23	3.20	2.83	2.83
5	4.60	3.40	3.60	4.00	4.00	3.20

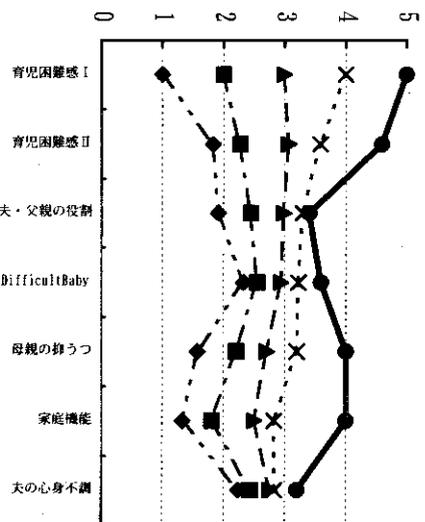


図6 3歳児以上 (育児困難感I)

表7 3歳児以上 育児困難感Ⅱとほかの要因とのプロフィール

育児困難感Ⅱ	育児困難感Ⅰ	夫・父親の役割	Difficult Baby	母親の抑うつ	家庭機能	夫の心身不調
1	1.84	2.16	2.16	1.89	1.42	2.11
2	2.33	2.46	2.87	2.34	1.86	2.39
3	2.95	2.93	2.85	2.50	2.40	2.63
4	3.49	3.27	3.10	3.25	2.92	3.10
5	4.00	3.40	3.10	3.70	3.00	2.90

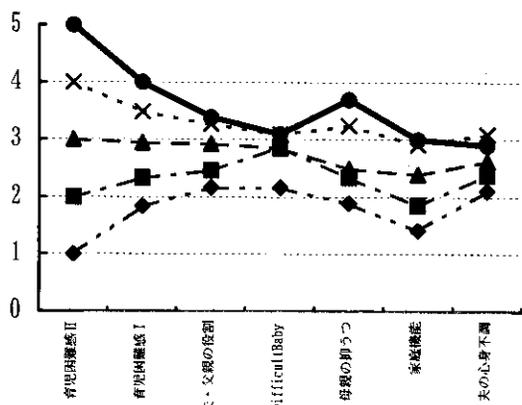


図7 3歳児以上 (育児困難感Ⅱ)

2 育児困難感とほかの尺度との関係

ここでは育児困難感とほかの尺度との関係を相関係数(ピアソン)を求めて調べた。

1) 0歳児

育児困難感Ⅰと「母親の不安・抑うつ傾向」と+.541 (P<.01), 「夫・父親・家庭機能の問題」と+.379 (P<.01), 「Difficult Baby」と+.280 (P<.01), 「夫の心身の不調」と+.219 (P<.05)といずれも有意な正の相関が得られた。とりわけ、「母親の不安・抑うつ傾向」との関係が高いことに注目したい。

2) 1歳児

育児困難感Ⅰとは「同Ⅱ」と+.599 (P<.01), 「母親の抑うつ傾向」と+.511 (P<.01), 「Difficult Baby」と+.380 (P<.01), 「夫の心身不調」と+.327 (P<.01), 「夫・父親の役割問題」と+.294 (P<.01), 「家庭機能の問題」と+.218 (P<.05)であった。困難間同士の相関値が高い正の相関を示すとともに、「母親の抑うつ傾向」とも高い相関値が得られた。

育児困難感Ⅱでは「母親の抑うつ傾向」と+.584 (P<.01), 「家庭機能の問題」と+.384 (P<.01), 「Difficult Baby」と+.358 (P<.01), 「夫・父親の役割問題」と+.339 (P<.01), 「夫の心身不調」と+.334 (P<.01)であった。いずれも正の相関値を得たが、とりわけ「母親の抑うつ傾向」及び同Ⅰと同じように高い相関を示した。育児困難感ⅡはⅠよりも家庭機能や夫・父親の役割との関係が高い傾向にあり、この二つが育児困難感Ⅱを高める要因となっていることを示しているものと思われる。

3) 2歳児

育児困難感Ⅰでは「同Ⅱ」と+.515 (P<.01), 「母親の不安・抑うつ」と+.463 (P<.01), 「夫の心身不調」と+.277 (P<.01), 「Difficult Baby」と+.194 (P<.05), 「夫・父親・家庭機能の問題」と+.085 (ns.)であった。ここでもやはり母親の不安・抑うつが高い正の相関を得る一方、反対に、夫・父親・家庭機能の問題は無相関であった。これらの要因はほかでもあまり高い相関値が得られず、2歳児のいる家庭の特徴的な状況といったものがあるのであろうか検討課題といえる。

育児困難感Ⅱとは「母親の不安・抑うつ傾向」と+.477 (P<.01), 「夫・父親・家庭機能の問題」と+.279 (P<.01), 「夫の心身不調」と+.238 (P<.01), 「Difficult Baby」と+.040 (ns.)であった。母親の不安・抑うつ傾向は変わらず相関が高いが、同Ⅰと大きく異なるのは「夫・父親・家庭機能の問題」で、同Ⅱでは有意な相関が認められたことであり、子どもへのネガティブな感情、攻撃、衝動性がこれらの要因と深く関与しているものと考えられる。同様の違いが同ⅠにおいてDifficult Babyでも認められ、乳児期の育てにくさとそのもたらす母子関係のありようがこの年齢になっても続いていることが伺われる。

4) 3歳児以上

育児困難感Ⅰでは「同Ⅱ」と+.611 (P<.01), 「母親の抑うつ傾向」と+.466 (P<.01), 「家庭機能の問題」と+.396 (P<.01), 「夫・父親の役割問題」と+.363 (P<.01), 「Difficult Baby」と+.257 (P<.01), 「夫の心身不調」と+.192 (P<.01)であった。

育児困難感Ⅱとは「母親の抑うつ傾向」と+.429 (P<.01), 「家庭機能の問題」と+.378 (P<.01), 「夫・父親の役割問題」と+.344 (P<.01), 「夫の心身不調」と+.292 (P<.01), 「Difficult Baby」と+.155 (P<.01)であった。

育児困難感ⅠとⅡともにほぼ似たような相関関係を示し、3歳から6歳の母親の育児不安は多くの要因の絡み合いの中に生じていることが分かる。また、2歳児の母親と同様、育てにくいDifficult Babyの問題もこの時期になお尾をひいている。従って、これらの育てにくさをもつ乳児の場合、乳児健診の際、児の特徴とその対応についての相談が必要である。

全年齢を通じて母親の不安や抑うつ傾向が育児困難感との強い関連を有している。従って、育児不安の相談の際、不安・抑うつ傾向の見極めと対応が重要なポイントになる。

次に育児困難感Ⅱは「夫・父親・家庭機能の問題」、「夫の心身不調」という夫(父親)のありようと、これに直接影響を受ける「家庭機能の問題」が浮かび上がっている。従って、育児不安の相談は夫(父親)もその対象であり、援助が望まれる。更に重要なことは育児困難感ⅠとⅡは強い相関をもっていることである。このことは、育児への<自信のなさ、心配、困惑>などをもつ母親が同時に子どもへの<ネガティブな感情、攻撃、衝動性>をもっていることを示している。いわば2つの心性がコインの表裏をなしているといつてよい。相談の場で、一見育児に困惑しているその母親が、心の内のネガティブなものを必死に抑えていることもあると心得ておきたい。ここに育児不安の虐待へのハイリスク要因をみることもできよう。

なお、相関値の出方は上記のプロフィールパターンの結果を裏付

けたものとなっている。

本質問紙の大きな特徴は、育児不安の本態とその程度をみるだけでなく、それに関連する各要因（領域）とその程度を知ることにある。上述の結果にみるように、本質問紙を施行することにより、この点が明瞭に浮かび上がり育児不安解消に向けての相談の大きな指針を得ることができる。

従って、本質問紙に臨床的有用性を認めうるものとする。

3 自由記述・面接ならびに相談所見とプロフィールとの関係について

保健センターその他で得られた主な自由記述・面接と相談所見を一覧表にした。そして、プロフィールパターンの中で育児困難感を中心に特徴的と思われる主なものを抽出し付表1から付表8にまとめた。

育児困難感を中心にいくつかのパターンに分けると、

- 1) 育児困難感Ⅰがランク5
- 2) 育児困難感Ⅱがランク5
- 3) 育児困難感ⅠとⅡ、両方がランク5のものなどがある。

そのほか育児困難感がランク4ないしはそれ以下であっても特徴的な自由記述や面接が得られたものについても検討を加える。

- 1) 育児困難感Ⅰがランク5

- a. 0歳児（付表1と2）

付表1ではサンプル番号 002005（パターン 53344 以下同じ）、009002（51453）、001031（53534）、001022（52452）、001014（54544）、付表2では001040（54455）、001037（53434）であった。付表1と2はいずれも0歳児なので育児困難感Ⅰのタイプしかあり得ない。

この中で002005は「夜寝る時間が遅い、飲んだ後、かならず、吐く、寝返りをしない」という訴えであり、母親の子育てに困難を感じている原因が子どもの扱いにくさ（Difficult Baby）であり、この領域もランク4と高めになっている。これに対して、009002は「うまく育児ができない、子どもをちゃんと育てるにはどうしたらよいかわからない」であり、育児困難感が全面に出ている。しかし、おそらくこの母親が困難を感じているのはDifficult Babyのランク5から来ているのであり、そのことと母親の抑うつ感ランク4が関連しているものと推測される。これと類似したパターンを示したのが001022の母親である。この母親は子どもの扱いにくさを「離乳食を食べるとき落ち着いて座って食べてくれない・・・どこまで許してどこからしつけてあげればいいのかわかりません」とDifficult Babyランク5に困り果てるとともに自身が現在妊娠8カ月であり、このことも母親の抑うつ感ランク4に影響していると考えられる。

さらに、001031は子ども二人を取り扱いかねていることを訴えながら「どうしたらよいかわからず、怒りを上の子にぶつけてしまう。そしてそんな自分がとても嫌だ」、育児困難感ランク5が母親自身の抑うつ（ランク5）を自覚しているといえる。これに類似したのは001037であるが「子どもを育てられない。もともと子どもは欲しくなかった」であり、所見にあるように母親自身が育った家庭に恵まれないだけでなく「うつ病が再燃」というように母親の抑うつ

感ランク4を示した。既に述べたように、母親の抑うつ傾向への適切な対応が必要である。

001044はほぼ全面的に高いランクを示した母親であり、要注意であるが、主な訴えとしては睡眠やミルクの飲みの悪さのみをあげている。しかし、このケースでは夫・父親・家庭の問題と夫の心身不調がともにランク4を示し、このことが母親の抑うつ感ランク5を高めている可能性が強い。家庭全体に何らかの問題を抱えている可能性を考える必要があるだろう。

同様な傾向をもつものは001040であり「いろいろやっているつもりだがこれでいいのか、ほかの赤ちゃんに比べて自分の子が遅れているのでは」としている。しかし、ほかの領域でもランク4から5と高く、育児困難感だけにとどまらないことが予想され、多くの問題を抱えたケースとして相談を必要としている。

育児困難感Ⅰは育児への「心配・困惑・不適格感」であり、こうしたことが子どもの取り扱いにくさや家庭の問題により、高められたり、あるいは家庭全体の問題へと発展していることも考えられる。

- b. 1歳児（付表3と4）

付表3では102024（5324453）、付表4は該当者なし。

102024は「子どもがなつかない」、「子どもが父親にべったりで自分になつかない」であり、子どもが自分になつかない、子どもが自分の思っていたようにならない、といったことも育児困難感を生じさせているものと考えられる。所見にもあるように「現在、母親はかなり気持ち的に落ち込んでおり、周りでフォローしていく必要がある」とされ、母親の抑うつ（ランク5）に現れている。なお、子どもをDifficult Baby（ランク4）にとらえているがこれも母親にとっては育児を困難なものにしている。ただし、この母親はこのことによって育児困難感Ⅱ（ネガティブな感情・攻撃・衝動性ランク3）が高くなっていない点で、もし、これも高ければ虐待へのハイリスクを考えなくてはならないであろう。

- c. 2歳児（付表5と6）

付表5は該当者なし、付表6は201001（542323）であった。

201001は「落ち着きがない」ということでこのことでかなり母親は対応に苦慮しているようすがうかがわれる。さらに育児困難感Ⅱもランク4と高いが、夫・父親・家庭はランク2で夫の協力が支えとなっているものと思われる。もしこのランクが高い場合にはハイリスクな家庭状況となることだろう。

- d. 3歳児以上（付表7と8）

付表7では310021（5454344）、324004（5444544）、付表8は該当者なしである。

310021の母親は育児困難感Ⅰをはじめ、同Ⅱもランク4、夫・父親の役割ランク5、家庭機能、夫の心身不調共にランク4とかなり高い。それにも関わらず、「子どもたちは日々成長しており、親もまた、その成長にあった環境を作ってあげなければならない」という建て前を述べたものとなっている。悩みや不安を率直に訴えることができないものと思われる。面接などではこうした紋切り型の反応を示す一方、心理検査では要注意を示す人もいて、この場合信頼関係を少しずつ築きながら相談を進める必要がある。

324004は「言語の発達の遅れ」など発達の遅れがみられるケースで「書ききれないほどです」と訴えており、このことが母親の抑うつ感ランク5と関連している。加えて、ほかの領域でもランク4と

高いスコアを示しており、心理相談や発達相談が必要な要注意ケースである。

これらの表中でパターンなしというのはこのような母親がいないという意味ではなく、たまたま自由記述または面接で該当者がいなかったということに過ぎず、実際にはこのパターンの母親はいるものと考えられる。

2) 育児困難感Ⅱがランク5

a. 1歳児 (付表3と4)

付表3では 109010 (4542143)、付表4では 108007 (4534542) である。

109010 では「最近になって自我が出てきたのか…?! 何をしても何をいっても『イヤ』の連発」ということであり、そのことによって育児困難感Ⅱの特徴であるネガティブな感情・攻撃・衝動性が刺激されているものと思われる。母親の抑うつ感や夫・父親の役割もランク4と高くなっていて、要注意である。

108007 は子どもの状態が「気に入らないとかんしゃく、head banging もある」。所見では超未熟児出生であり、育児に手が掛かることや、病気がちで仕事をもつ母親が休まなくてはならないことが多かったというような事情があり、母親にとってはネガティブなイメージを持ちやすい児であろうことが推測できる。育児困難感Ⅰ、母親の抑うつ感ともにランク4であり、所見にあるような祖父母等による家族の協力が得られなければもっと状況は悪化していただろうと思われるケースである。

b. 2歳児 (付表5と6)

付表5は 204013 (454531)、204006 (45□□43)、付表6では該当者はいなかった。

204013 は「ものを持つとすぐ叩く」など取り扱いにくい子どもなのであろうが、夫・父親・家庭の問題ランク4、夫の心身不調ランク5と夫の状態が良くないことが推測される。このことも育児困難感Ⅱを高めることにつながっている可能性がある。

204006 は単親家庭である。子どもの将来について「いじめられっ子になりそうな要素を持っているように思える」と述べていて、育児困難感Ⅰと母親の抑うつともにランク4になっている。こうした将来への危惧はこの母と子の関係のあり方が反映したものであると思われる。このケースでも虐待へのハイリスクを考慮に入れた相談が必要であろう。

c. 3歳児以上 (付表7と8)

付表7は 302012 (3533434)、付表8では 302006 (3543414) であった。

302012 の母親は「自我が芽生え何でも『自分で』とやりたがるのを待ってられず、イライラしてしまう。つい反抗させる口調(命令調)でヒステリーに怒ってしまう」という。これは育児困難感Ⅱが意味することをそのまま述べていることがわかる。母親の抑うつ感もランク4で高くなっていて、

302006 であるがこれも上と同様に「子どもが自立心が強く何か思い通りにできないとすぐイライラして涙ぐむ」と、自立心がキーワードになっているようで、子どもが自分の思うようにならないことへの反応である。夫・父親の役割や母親の抑うつ感がランク4で高くなっていて、

3) 育児困難感ⅠとⅡがランク5

付表7の 314001 (5523444)、付表8の 306002 (5523532) の2件だけであり、自由記述または面接からは3歳児以上群のみに現れた。

314001 は「小さいときから非常に手が掛かる(いたずらがひどく、外出すれば迷子になる)。3人きょうだいの真ん中で・・・ずっとかまってやれない・・・よけいに情緒不安定になっている・・・きょうだいげんかがひどいので私の方が冷静でいられないことが多く、言葉の暴力を浴びせているような気がして、落ち込んだり」と述べている。母親の抑うつ感、家庭機能などもランク4と高くなっていて、育児に行き詰まっている状況がわかる。このように対象となっている児だけでなくそのきょうだい間の関係も重要な要因となっている。母親に対するソーシャルサポートと相談の必要なケースであると言えよう。

306002 の場合、今までのケースとは異なり保育者からの「乱暴、行儀の悪さなど指摘され「もう手遅れ」のようにいわれ母としてのショック大きく、落ち込む」というものである。このことと関連して母親の抑うつ感がランク5と高い。所見では望んでいない妊娠・出産であり、「生まれてから少しも可愛いと思えず、叱ってばかりいた」「早くからカウンセリングを受けるように」すすめられていたという。母親が妊娠・出産時から児を受け入れることができないことが母親の育児困難感Ⅰ、Ⅱや抑うつ感を高めることになったと思われる。

わずかに2例ではあるが、育児困難感のタイプⅠ、Ⅱともに高い場合はやはり何らかの大きな問題を抱えていることが予想され、心理相談を必要としているといえるであろう。

4) その他

育児困難感がランク5以下であるが育児に困難をもっているか、異なったりいくつかのプロフィールパターンの例を年齢ごとに取り上げる。

a. 0歳児 (付表1と2)

001038 (34354) (付表1) は「抱っこしてないと泣く。眠ったと思ってベッド等に寝かせると15分も眠らずに泣く。体力的にきついが普段は手伝ってくれる人がいない」である。即ち、Difficult Baby ランク5であることがもっとも大きな悩みとなっているが、しかし、夫・父親・家庭の問題や夫の心身不調もともにランク5であり、夫の協力が得にくい状況にある。ただし、母親自身の問題や育児困難感Ⅰはランク3で、それほど高くない。これらの状況に今後変化がなければ育児困難感も高まる可能性があると思われる。

040001 (42414) (付表2) の母親は「イライラする」、「夫と父との間で気をつかたりする」であり、現在、ハイリスクな妊娠中であることも伴って、「つい夫にあたってケンカしてしまう」という状態にある。子ども自体は Difficult ではないし、夫・父親・家庭の領域もランクが低い。しかし、母親の抑うつ感と育児困難感Ⅰはともにランク4と高い。この母親は本質問紙よりも面接での訴えが多く、質問紙にきちんと答えていないように思われる。これは質問紙法全般にいえることであるが、率直に答えるとは限らない一例といえよう。このことを踏まえて質問紙を実施する必要がある。

002023 (35434) では「夫の両親と同居中であるがあまり協力してくれない。育児の面でいざこざがおこることもしばしばある」と

いうように夫・父親・家庭の問題のランクが5と高くなっている。そのためか母親の抑うつ感もランク4と高い。子ども自体にはほとんど問題はなく、子育てにもそれほど困難を感じていないが（ともにランク3）、家庭全体にリスクを抱えており、今後、子育てに影響が及ぶことが考えられ、相談を必要とするケースであろう。

001017 (44443) は「夫、忙しくほとんど協力得られない。相談などもする時間ない」であり、夫の心身不調を除いてすべてランク4である。

これに類似しているが前ケースよりも状態が懸念されるのは001012 (45554) ですべての領域がランク4以上である。とりわけ夫・父親・家庭の問題、母親の抑うつ感、Difficult Baby がランク5である。この母親は「すぐにイライラしてしまう。大きな声を出してしまう。相談相手がいない」であり、虐待へのハイリスクを含む全般的に問題を抱えているケースであるといつて良い。

001011 (44424) は Difficult Baby をのぞいてすべてランク4であり、「育児に自信を持っていない。つねに二人の子どもと三人きりでいると自分にとっても児にとってもストレスになる。ついイライラして上の子に手をあげてしまう。父は仕事が忙しく育児協力あまり得られない」とある。また、ほぼ同じパターンで 001006 (44435) の母親がいる。この母親も「いつも3人で家の中においてイライラすることが多い。夫も・・・子どもの面倒をみてくれない。」である。

ここにあげた例はいずれも育児困難感Ⅰ、夫・父親・家庭の問題、母親の抑うつ感がランク4以上である点で共通している。家庭内がハイリスクで閉塞状態におかれていると考えられ、相談、援助を必要としている。

b.1 歳児 (付表3と4)

102025 (4423234) (付表3) は育児困難感Ⅰと同Ⅱがともにランク4と高く、家庭機能もまたランク4を示している。児は「発達が3から4カ月遅れている」ことや目の障害がある。面接では本児のみでなくきょうだいにも同じ家族性障害があり「イライラすることが多くなった」という。また、「同居している義父母の協力はぜんぜん得られず、自分が出かけることによくいわない」という家庭内の問題があがってきている。こうした児の障害や家庭内の状況が反映して育児困難感を高めていることが推測される。母親の抑うつ感がランク3であまり高くないことが救いである。

102027 (4442443) (付表4) は「思うように育児がいかないことが多い。友だちの子どもと比べて言葉があまりでない・・・」とあり、所見でも「前々からいろいろな面で育児不安の強い母で義母にも不満があった」というもので育児困難感以外にも夫・父親の役割、Difficult Baby、母親の抑うつでもランク4を示し援助を必要としている。

108001 (4455545) は0歳児群にもみられた各領域が高ランクを示した例である。育児困難感Ⅰ、Ⅱともにランク4であり、夫・父親の役割、夫の心身不調、Difficult Baby、家庭機能がランク5を、そして母親の抑うつ感がランク4を示した。本児が「人から体に触られるのをいやがる。父親の協力が得られない。本児は短気ですぐにかんしゃくを起こす」であり、夫の問題が家庭機能の低下を招き、それが子どもへの対応を困難にし、虐待へのハイリスクをはらんでいる。

c.2 歳児 (付表5)

204007 (444452) (付表5) は「言葉が遅すぎるような気がする」としている。しかし、Difficult Baby 以外はすべてランク4以上でとりわけ母親の不安・抑うつはランク5を示している。母親の精神状態と子どもの言葉の発達の遅れが関連しているのか、家庭の状況など含め心理相談の対象となるケースであろう。

203004 (444244) の母親は「子育ては家族や地域の協力があってやっていると」と書いているが夫の心身不調を除いてはすべてランク4を示している。子育ての建て前を述べているがこれも先述したようにこうした母親はかえって気がかりで、いつでも相談が受けられるようにしておきたい。

202020 (424442) では「同居していることで子どもに対する考え方、しつけの面でのことなど、夫の両親とのかなりの食い違いなど」や「私のやっていることは全部間違っていることなのかと考えさせられる」と書いている。所見にあるように本ケースは上の子どもへの虐待傾向があったために、夫の両親との同居が始まった。このケースでは育児困難感Ⅱと Difficult Baby を除きすべてランク4となっている。ネガティブな感情・攻撃・衝動性を示す育児困難感Ⅱが低くなっているのは現在の状況が改善されているためか、自覚が乏しいのか、あるいは本対象児への虐待がみられなかったためかは不明である。いずれにせよ相談援助が必要である。

202011 (111321) は「育てやすい」としたもののプロフィールパターンの例証としてあげた。夫の心身不調のみがランク3でやや高いたけであとはランク2以下である。

d.3 歳児以上 (付表7と8)

309018 (4215312) (付表7)。これは Difficult Baby が3歳以上でありながらランク5になった例としてとりあげた。「イライラして怒ったらものを投げ出す。病気の時、薬を飲まない」とあり、育児困難感Ⅰがランク4で高めであるが他の領域では問題がない。この児の例では乳児期に Difficult Baby であった児が3歳すぎてもやはり取り扱いの難しさを示しているものと思われる。先述したように、乳児期の母子関係のパターンが発達、変化せず持続しているものと考えられる。ただし、この母親の場合は手を焼いてはいるものの他の領域ではランクが3以下であり、家庭内の状況も良いことから緊急性は低いものと考えられる。

313007 (4354442) の母親は「男親でなければ駄目なことが発生したときのことを考えると、夫はしっかり教育できるだろうかととても不安」であると記述している。夫・父親の役割がランク5であり、こうした現在の夫の状況からみて先行きの心配をしているのであろう。育児困難感Ⅱ、夫の心身不調以外はランク4以上でやや全体に高めである。夫が妻を支える機能を果たせるかどうか問題となるケースであり、夫への相談援助が必要である。

302009 (3433332) (付表8) 面接の中で「以前より子どもを愛せない」と悩んでいた」ことなどを述べる。本質問紙ではこの状態を示す育児困難感Ⅱのみがランク4で高い。母親への面接からすればよりスコアが高くなるケースであるが、前述したように母親が率直に回答することを回避したように思われる。母親の面接をすることで実際の母親の印象と本質問紙への回答の仕方やスコアとのズレがないかどうかを確認することが重要で、本質問紙を使用する際のポイントである。

以上、述べてきたようにかなりの程度本質問紙のプロフィールは自由記述や面接、所見とおおよそ一致し、前述の統計処理の知見と相まって本質問紙の臨床的な有用性はある程度実証されたものと考ええる。

4 育児困難感のランクからみた相談対象の選定人数

ここでは、どのようなプロフィールパターンを示す母親が相談を必要とするのか、その対象数を推定し実際の相談に応じるための基礎資料としたい。

以下、各年齢群ごとに対象を選定するための基準を示した。また、それが今回のサンプルから何%程度になるかも示した。なお、この基準を策定する際には前節でのプロフィールを参考にした。

1) 0歳児 (表8)

0歳児では育児困難感Iを示したものと、全領域がランク4以上でこれでおおよそ10%程度が対象となる。もちろん、余力があれば上記中4領域ランク4以上も対象とすることが望ましい。あらかじめスコアを求め、プロフィールパターンが描ければ、問診の段階でおおよその話を聞くだけで、より詳細に、あるいは心理相談が必要なケースかどうかは判断がつくものと考えられる。

表8 0歳児の選定対象

	0歳児	%
対象数	133	
育児困難感I ランク5	9	6.8%
全領域ランク4以上	4	3.0%
育児困難感I ランク4	30	22.6%
上記中4領域ランク4以上	13	9.8%
育児困難感I ランク3以下(*)	9	6.8%

(*) 他の3領域でランク4以上が3領域以上

2) 1歳児 (表9)

1歳児では育児困難感IとIIのどちらかがランク5、全領域ランク4以上、全領域中ランク4が4領域、ランク4が4領域が対象となる。

表9 1歳児の選定対象

	1歳児	%
対象数	127	
育児困難感I ランク5	2	1.6%
育児困難感II ランク5	3	2.4%
育児困難感I ランク4	40	31.5%
育児困難感II ランク4	30	23.6%
育児困難感I 5同II 5	0	0.0%
育児困難感I 5同II 4	1	0.8%
育児困難感I 4同II 5	3	2.4%
育児困難感I 4同II 4	18	14.2%
全領域ランク4以上	2	1.6%
全領域中ランク4が4領域(*)	2	1.6%
ランク4が4領域(*)	4	3.1%

(*) 1) 育児困難感I・IIランク4・3または5・3か3・4または3・5

の組み合わせの中から。

(*) 2) 育児困難感I・IIランク3以下で他の領域でランク4以上が4領域以上のもの。

3) 2歳児 (表10)

2歳児では育児困難感IとIIのどちらかがランク5、全領域ランク4以上、全領域中ランク4が3領域、ランク4が4領域対象になるものとする。

表10 2歳児の選定対象

	2歳児	%
対象数	123	
育児困難感I ランク5	1	0.8%
育児困難感II ランク5	4	3.3%
育児困難感I ランク4	30	24.4%
育児困難感II ランク4	31	25.2%
育児困難感I 5同II 5	0	0.0%
育児困難感I 5同II 4	1	0.8%
育児困難感I 4同II 5	2	1.6%
育児困難感I 4同II 4	15	12.2%
全領域ランク4以上	0	0.0%
全領域中ランク4が3領域(*)	3	2.4%
ランク4が4領域(*)	3	2.4%

(*) 1) 育児困難感I・IIランク4・3または5・3か3・4または3・5の組み合わせの中から。

(*) 2) 育児困難感I・IIランク3以下で他の領域でランク4以上が3領域以上のもの。

4) 3歳児以上 (表11)

1歳児では育児困難感IとIIのどちらかがランク5、全領域ランク4以上、全領域中ランク4が4領域、ランク4が4領域が対象となる。

表11 3歳児以上の選定対象

	3歳児以上	%
対象数	284	
育児困難感I ランク5	5	1.8%
育児困難感II ランク5	10	3.5%
育児困難感I ランク4	71	25.0%
育児困難感II ランク4	73	25.7%
育児困難感I 5同II 5	3	60.0%
育児困難感I 5同II 4	2	0.7%
育児困難感I 4同II 5	5	1.8%
育児困難感I 4同II 4	36	12.7%
全領域ランク4以上	4	1.4%
全領域中ランク4が4領域(*)	6	2.1%
ランク4が4領域(*)	2	0.7%

(*) 1) 育児困難感I・IIランク4・3または5・3か3・4または3・5の組み合わせの中から。

(*) 2) 育児困難感I・IIランク3以下で他の領域でランク4以上が4領域以上のもの。

以上、育児困難感がランク4以下であっても家庭機能や夫・父親など他の領域でハイリスク要因が複数あるケースがある。この場合、よく話しを聴き相談にすすむことが望ましいと考える。

IV 今後の課題

以上の結果及び考察から本質問紙の臨床的有用性を認めうるものとする。

今後のひとつの課題は「子どもの心身状態」領域の取り扱いである。われわれの従来の研究ではこの領域の因子のまとまりが乏しく、またほかの因子との関係で脱落してしまった。しかし、自由記述や相談所見にみるように、子どもの心身の状態が母親の訴えのひとつの基になっていることは確かである。

たとえば、夜中に何回も起こされるとか、いうことをきかないとか、落ち着きがない、癖がある、ミルクの飲みが悪い、といったものが、母親の育児困難感に関与していることが臨床的に認められる。そこで、「子どもの心身状態」を入れることによって、より母親支援のための相談に役立つことが期待される。そこで本質問紙にこれまでの研究知見に基づき子どもの年齢を考慮に入れ、質問項目を加えた。これをもって「子ども総研式・育児支援質問紙ミレニアム版」とした。

なお、ネガティブな聞き方の質問項目が多いため、回答しにくいことが考えられる。これについて質問の仕方をポジティブなものに変えることも検討したが、そのことによってこれまでの因子構造（主成分構造）が変わってしまうおそれがあるのでこれまで通りとし、今後の課題とした。

今後、この質問紙を用い、育児不安解消のための相談を行い、更に臨床的有用性を確かめたい。

更に、これまでの数年に及ぶ本研究を通じてあらためて父親・夫の問題がクローズアップされてきたと考える。筆者らはかつて厚生省心身障害研究において数年にわたって父親研究を行い、いくつかの知見を報告した。しかし、速度を増す少子高齢社会、女性の社会的意識の増大を中心に、今後の社会、心理、経済的状况から「男も女も家庭と仕事の両立」を必然的に要請されることは間違いない。しかし、現在の父親たちが家庭に入り、その役割を十分果たしうるか、困難が予想される。本研究にみるように母親の育児不安の発生に父親の関与は大きく、更に、子どもへの虐待、或いはドメスティックバイオレンスの増大も懸念される。そこで、父親の育児不安を含め、新たな視点からの父親研究を行うことが今後の課題であると考えられる。

付記：本研究の子ども総研式・育児支援質問紙ミレニアム版について、無断使用はご遠慮ください。もし、臨床あるいは研究のために利用される場合には、研究代表の川井までお申し出ください。

謝辞 本研究をすすめるに当たりご協力いただいた日本小児保健協会発育委員はじめ、各地域の小児科、保育園、幼稚園の先生方、保健センターの保健婦、そしてお母さんたちに深く謝意を表したい。

文献

- 1)川井 尚ほか 育児における父親の役割Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 厚生省心身障害研究「高齢化社会を迎えるに当たっての母子保健事業策定に関する研究」(平山宗宏主任研究者)平成元年, 2年, 3年度報告書, 1990-1992.
- 2)川井 尚ほか 育児における父親の役割と保健指導に関する研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 厚生省心身障害研究「少子化時代に対応した母子保健事業に関する研究」(日暮 眞主任研究者)平成4年, 5年, 6年度報告書, 1993-1995.
- 3)川井 尚・庄司順一・千賀悠子・加藤博仁・中野恵美子・恒次欽也: 育児不安に関する基礎的研究. 日本総合愛育研究所紀要, 30集, 27-39p, 1994.
- 4)川井 尚・庄司順一・千賀悠子・加藤博仁・中野恵美子・恒次欽也: 育児不安に関する臨床的研究-幼児の母親を対象に-. 日本総合愛育研究所紀要, 31集, 27-42p, 1995.
- 5)川井 尚・庄司順一・千賀悠子・加藤博仁・中野恵美子・恒次欽也: 育児不安に関する臨床的研究Ⅱ-育児不安の本態としての育児困難感について-. 日本総合愛育研究所紀要, 32集, 29-47p, 1996.
- 6)川井 尚・庄司順一・千賀悠子・加藤博仁・中村 敬・恒次欽也: 育児不安に関する臨床的研究Ⅲ-育児困難感のアセスメント作成の試み-. 日本総合愛育研究所紀要, 33集, 35-56p, 1997.
- 7)川井 尚・庄司順一・千賀悠子・加藤博仁・中村 敬・谷口和加子・恒次欽也・安藤朗子: 育児不安に関する臨床的研究Ⅳ-育児困難感のプロフィール評定試案-. 日本子ども家庭総合研究所紀要 (旧誌名日本愛育総合研究所紀要), 34集, 93-111p, 1998.
- 8)川井 尚・庄司順一・千賀悠子・加藤博仁・中村 敬・谷口和加子・恒次欽也・安藤朗子: 育児不安に関する臨床的研究Ⅴ-育児困難感のプロフィール評定試案-. 日本子ども家庭総合研究所紀要 (旧誌名日本愛育総合研究所紀要), 35集, 109-143p, 1999.
- 9)齋藤 学: 家族の闇を探る, NHK人間大学, 1998.
- 10)恒次欽也・庄司順一・川井 尚: いわゆる育児不安に関する調査研究(1)-「育児困難感」の規定要因に関する研究-. 愛知教育大学研究報告 第48輯(教育科学), 123-129, 1999.
- 11)恒次欽也・庄司順一・川井 尚: いわゆる育児不安に関する調査研究(2)-新資料による「育児困難感」の規定要因に関する研究-. 愛知教育大学研究報告 第49輯(教育科学), 123-129, 2000.

川井他：育児不安に関する臨床的研究VI

付表1 育児不安1999年試案の自由記述<0歳児版>

patternは左から育児困難感I, 夫・父親・家庭, 母親の抑うつ, Difficult Baby, 夫の心身の不調

サンプル番号	Profile Pattern	自由記述
002005	53344	夜寝る時間がおそい。飲んだ後、必ず吐く。寝返りをしない。 所見：家族が集中的に夜遊ぶ傾向があるのでどうしても夜寝る時間が遅い。すべて子どものペースでなくても家族の時間に合わせて生活するのもやむを得ないと思われる。あまり極端にならないように夜10時には寝かせてあげたい。
009002	51453	うまく育児ができない。子どもをちゃんと育てるにはどうしたらよいか分からない。
001038	34354	抱っこしてないと泣く。眠ったと思ってベッド等こぼせると15分も眠らずに泣く。体力的にきつい段階は手伝ってくれる人がいない。(時々夫が通勤途中に実家へ連れて行ってくれる。) 引越したばかりで近所に知り合いがまったくないが実家の側に友達がいるので現住所の近くで友達を作ろうと思わない。 面接：子どもが泣いてばかりでいつも抱っこしてないと泣きやまない。眠ったと思い、ベッド等に寝かせても10分から15分で起きてしまう。 所見：目立って育児を困難にしている所見はないと考えられる。助言に対し、否定的な言動が目立つ。「そうですね」「試してみます」という回答は一つもなく「～していますから」「～してもだめなんです」「どうにもならないんです」との答えが多い。質問紙の回答も本音で答えていないところが多いと考えられる。
001031	53534	二人いる子どものうち一人だけと遊んでいるときはとても楽しく幸せだが、子ども二人と自分一人の時、どちらかが大泣きをしたりするとどうしたらよいか分からず、怒りを上の子にぶつけてしまう。そしてそんな自分がとても嫌だ。 面接：粉ミルク嫌い(現在は母乳と離乳食)。体重が増えない。 所見：医師より流しこんでもでもミルクを飲まずよう指示され無理このませたりもした。別の医師には無理で与えないでの指示された。本当に与えなくてよいのかなど、負担感大きくい判断できないところがある。「疲れた」とも訴えあり。ミルク嫌いについては離乳食+母乳でカバー可。保育園も1歳近くになるので心配ない。一茶養指導
001022	52452	離乳食を食べるとき、落ち着いて座って食べてくれなく、自分の気に入らないことがあると、キーキー声を出します。どのように接したらよいか分かりません。何でもかじるのですが、今の月数ではみなさんそうなのでしょうか。できるだけ「あはだめこれだめ」と言いたくないのですが、どこまで許してどこからしつけてあげればよいか分かりません。(現在妊娠8ヶ月) 面接：児がチョロチョロ歩き回りいたずらをする。何でも口に入れることが心配。どうやって怒ってよいか、しつけをしてよいかとても不安になる。 所見：現在 妊娠8ヶ月。妊娠初期つわりがひどく本邦が泣くとイライラしたり落ち込んだりすることが多かった。現在、体調よいため児が動き回ったりするといいていい。イライラすることも多い。本日は祖母と来所。(抱っこしてもらったこと) 新生児H.V.、電話相談について紹介。
001014	54544	生まれたときから夜中に何度も起きてお昼寝も30分に1回は一度目をさます。最近では寝る前のミルクをまったく飲まなくなって夜4から5回起きる。理想は夜何時寝かせるか。 面接：これまで午前2時頃寝ていた。(父、帰りが遅い。) 所見：生活リズムについては4月～保育園に入るため変えようとしており、最近では23時頃には寝るようになってきたとのこと。夫の育児協力があまり得られないよう一人で抱えている様子。児が夜中によく起きることについて悩んでいるところである。

付表2 育児不安1999年試案の面接<0歳児版>

patternは左から育児困難感I, 夫・父親・家庭, 母親の抑うつ, Difficult Baby, 夫の心身の不調

サンプル番号	Profile Pattern	面接(主な心配)
040001	42414	イライラする。H11。7月に母の実家に引っ越してきて、夫は母の父親の仕事を手伝い始め、初めての土地でもあり、子育ても初めてでイライラしていることもわかる。また、夫と父の間で気がつかたりする。自分自身も今回の妊娠(5ヶ月目)は前回帝王切開で子宮筋腫もあるため二人目は作らない方がいいといわれていた。夫と相談し子宮破裂の心配もあるということで中絶をしようと思ったができない状態だったので無事に出産できるか心配。毎日、つい夫にあたってケンカしてしまう。 所見：アンケートをつけた後、話し始め、自分の今の状況を整理し、大きな課題が一度にきたという状況だという。実母にも毎日、子どもを連れて来てもらい、いろんな話をしているためイライラは出てしまうが、・・・と少し納得した様子で帰る。
002023	35434	夫の両親と同居中であるがあまり協力してくれない。育児の面ではいざこざがおこることもしばしばある。 所見：現在育児休業中で一日中子育てをし、同居している夫の両親や夫はあまり協力してくれないことで、母自身苦痛を感じているようだ。夫が休みの日に子どもと遊んでくれることも育児の一つと話す。4月から保育園に通いはじめ、母も仕事に戻るので家族からいろいろな面で協力してもらえるように話をしたらどうか話した。
001040	54455	いろいろやっているつもりだがこれでいいのか。ほかの赤ちゃんをみると自分の子が遅れているのかと気になる。 所見：妊娠中、母中毒症あり。出生時BW1740g。在胎36W、成田日赤HP NICUにて約1ヶ月入院。退院時2842g。当日4ヶ月11日。BW5.8Kg。カウプ16。発達np.母の不安強い。

001037	53434	子どもを育てられない。夫にも「子どもが生まれたら施設に預かってもらうように」と言われる。もともと子どもは欲しくなかった。 所見：父、母ともに小学6年、5歳から両親以外に育てられている。母は小学6年から高校卒業まで施設で過ごし、結婚しても子どもはほらないと考えていたが異父姉に「不自然」といわれて妊娠。妊娠中に夫が競馬で多額の負債を抱え、母は話さなかったことが引き金となり、鬱病が再燃。（鬱病の既往がある）父は仕事、育児を両立させようとしているが非常に厳しく、現在、休職を取り育児、母の介護に専念している。育児のサポートは近所に住む保育ママに依頼しているが、母の体調が悪いときは子どもの知人宅に1ヶ月預かってもらう等の方法をとっている。母はときどき子どもを「かわいい」といったり、世話をしたりするが、それはまれでほとんど父が育てている。
001017	44443	夫、忙しくほとんど協力得られない。相談などもする時間ない。兄の兄がもっと大変だったため本児についてはそれほど心配・不安はない。 所見：夫は相談相手にならないが母の母（兄の祖母）が1週間に何度かは来て、育児を手伝ってくれる。相談にものってくれるとのこと。
001012	45554	すぐにイライラしてしまう。大きな声を出してしまう。普段相談する人がいない。 所見：近所に子どもが少なく、母自身相談できる人がいない。本児の姉、13歳、本児の父27歳とのことで、母、再婚と考えられ、そのような環境もストレスになっているのではないかと。姉は育児を手伝ってくれるともうが一人でかかえこんでしまっているようにみえる。
001011	44424	育児に自信を持っていない。常に二人の子どもと三人きりで自分にとっても兄にとってもストレスとなる。ついイライラしてしまい、兄（特に上の子（3歳）に対して）手を挙げてしまうこともある。父は仕事が忙しく育児協力あまり得られず。 所見：母自身、イライラしてしまうこと、つい手をあげてしまうことはよくないと思う。上の子共々家や近所の公園で親や弟（本児）とあそぶだけでは満足していないため、集団に入りたいという。また、母自身も兄たちと一日中家で一緒にいることがストレスとなり（現住み内職中）できれば兄を保育園に入れ、パートに出たいと。兄と少し距離をおくことでイライラが解消できれば、と考えているという。→この方法でよいと思う。地区の育児サークル等紹介するとともに困ったときいつでも相談するよう伝える。
001009	45344	「愛情不足という気がするんです」と母。兄に対してあまり手をかけていないと思うし、抱っここともしていない。 所見：母、兄に対してどう関わってよいかわからない様子。相談中も兄が動き回っているのに対し、抱っこするわけでもなく落ち着いて話せず、「抱っこしても嫌がるしあまりだっこしない」というが、保健婦が兄を抱っこするとおとなしくなる。抱っこしながらの親子遊び等紹介すると、これまでやっていなかったという感じで話をきいている。
001006	44435	一歳半の姉（1歳10ヶ月）がダメと言ってもきかない。外に出るとどこかへ行ってしまおうので外に出せない。いつも3人で家の中にいてイライラすることが多い。夫も仕事が忙しいため、帰ってきて子どもを面倒みてくれない。（夫：イスラム系） 所見：姉、動きは確かに多いが理解はよく、対人面もよさそう。母イライラあり、相談場面でも姉をよく怒っている。ストレス解消は家事で手を抜く等してきている様子。“時期が来れば・・・”と希望はある様子であった。

付表3 育児不安1999年試案の自由記述<1歳児版>

patternは左から育児困難感Ⅰ、育児困難感Ⅱ、夫・父親役割、夫の心身不調、Difficult Baby、母親の抑うつ、家庭機能

サンプル番号	Profile Pattern	自由記述
102025	4423234	発達が3から4ヶ月遅れているのですが、1歳半で歩けるようになって、今は靴をはいて外を散歩できるようになりました。5ヶ月に眼振があることがわかり、検査を受けて家族性遺伝性網膜症といわれ、7ヶ月と9ヶ月の時レーザー治療をしましたが、左目の視力は望めないと言われました。今も通院しておりますが少しでも良い方向になればと思っています。 面接・・・4ヶ月健診から発達の経過をみており、現在3から4ヶ月の遅れがみられる。最近第1子にもその病気がうつかり家族性と診断され治療開始。第2子だけでなく、第1子の心配も増え、イライラすることが多くなった。同居している義父母の協力は全然得られず、母が外に出かけることにに対し、よく言わない。 所見：義父母の協力が得られない分、父親（夫）が非常に協力的で心の支えになっている。発達を含め眼科疾患の方は先生とよく相談しながら経過を見ていく。気分転換で町の育児サークルに短時間でも良いので参加してみれば・・・と誘ってみた。
102024	5324453	自分の職業のせいで週に1から2回夜間家にいないためか、子どもがなつかない。 面接：子どもが父親にべったりで自分になつかない。夜寝るときも父親がいると安心して眠る。育児に自信が特でず、疎外感を感じている。仕事（看護婦の夜勤）のため、熱を出したとき、一緒にいることができず、それ以来、ますます母から離れてしまった。 所見：現在、母親がかなり気持ち的に落ち込んでおり、周りでフォローしていく必要がある。子どもが父親になつくのは一時期で愛情を持って接していれば母親の存在がかならず気づくことを話す。町の育児サークルに誘った。
109010	4542143	最近づつづつ自我が出てきたのか・・・?!何をしても何をいっても「イヤー」の連発です。で、すぐ泣きます。こんなものといえばこんな年頃なんではないでしょうか・・・こんなものではないか・・・ 面接：何を言ってもイヤー 所見：反抗心の出現について

川井他：育児不安に関する臨床的研究VI

付表4 育児不安1999年試案の面接<1歳児版>

patternは左から育児困難感I, 育児困難感II, 夫・父親役割, 夫の心身不調, Difficult Baby, 母親の抑うつ, 家庭機能

サンプル番号	Profile Pattern	面接 (主な訴え)
102027	4442443	思うように育児がゆかないことが多いなと感じているがそれは仕方ないような気がする。友達の子ども(同年代)と比べてことばあまりでないとか、できないことがあって気づく。 所見：前々からいろいろな面で育児不安の強い母で、義母に対しても不満があった。子どもの発育・発達面では今のところ問題ないことを伝えた。義母が子どもの昼ごはんに菓子パンを出すことについても「保健婦、歯科衛生士から健診で指導があった」ということを話すように促した。
102026	4242434	母子べったり24時間で子どもへの影響良いのか。大きな公園ないので他の子と遊ばせる機会が少ない。2月3月は父親仕事が忙しく休日返上で仕事している。 所見：親と子のニコニコクラブに誘ってみたがあまり気のりしなそうな感じ。このままでいけないと母自身が気づいてはいるようだが、母自身他人と接するのが苦手らしい。
102022	4343234	日中も自分でみているが、育児に自信が持てない。夫の子どもへの接し方が言葉がきつい、あまり遊んでくれない。 所見：町のニコニコクラブに誘ってみるが母自身消極的な性格のようで参加期待できない?
101014	4432342	断乳したいと思うが母自身母乳に頼ってしまう。食事中にもほしがり、食事にも影響してしまう。寝る前も飲みながら就眠。トイレトレーニングに失敗してしまった。 所見：どうしたらよいかは母の中で決まっているが自分自身が自信がないでいた。父の仕事でいけないことが多く、育児の負担が大きかったが、このところ仕事も落ち着いて協力が得られるようになり、母少し楽になってきたとのこと。親子教室参加するのみとする。トイレトレーニングについては焦らず、いくつも一度に解決しようとせず、いずれとれるのでとアドバイスする。
108007	4534542	H10.12月より保育園に入園(兄5歳と同じ)。風邪、肺炎等による入院でほとんど通えなかった。母はフルタイムの仕事のため近所の母方祖父母、陣中父方祖母が泊まりがけで手伝ってくれる。気に入らないとかんしゃく、head-bangingもある。減ってきてはいる。食への興味もなく食が細くなかなか食べさせてくれない。 所見：本児は726g, 30wで生まれ出生後病気から小食、かんしゃく等育児に手のかかる子どもである。そのための負担感が大きい様子がうかがわれた。しかし、父親は協力的で健診にはよく同伴し、今回の検査の予約も父親の仕事で、携帯電話から連絡をくださった。父親の仕事が忙しそうである。母親はせつかく保育園に入れても上記のような事情で休まざるを得ない状況を嘆いていた。
108001	4455545	本児がある子に羽交い締めにされて以来、人から体に触られるのをいやがる。父親の協力が得られない。本児短気でできないとすぐかんしゃく。 所見：本児、頑固で短気な面が観察された。しかし好奇心強く、自分で何でもやりたがり、できないとすぐ怒る。粘り強い面もあるが、反抗的かと思われるような態度であった。そのような本児に育児困難を大きく感じている時期かもしれない。また、父親は病院まで来ているが、駐車場で待っている。(いつもらしいようで)育児に協力的でないという不満が語られた。2000年4月12日にお会いしたときには母親も明るく父親と育児協力について話し合ったのか?父親も病院内に一緒に来て本児と遊んでいた。本児も少し落ち着きコミュニケーションがとれるようになり、相手をしやすくなったようであった。

付表5 育児不安1999年試案の自由記述<2歳児版>

patternは左から育児困難感I, 育児困難感II, 夫・父親・家庭, 夫の心身不調, 母親の不安・抑うつ, Difficult Baby

サンプル番号	Profile Pattern	自由記述
204013	454531	ものを持つとすぐ叩く
204007	444452	言葉が遅すぎるような気がする
204006	45□□43	将来「いじめられっ子」になるのではないかと心配です。そのような要素を持っているように思えるのですが、どのように対処していくべきなのか、わかりません。
203004	444244	子育ては家族や地域の協力があってやっていると。思う。
202020	424442	同居していることで子どもに対する考え方、しつけの面でのことなど、夫の両親とのかなりの食い違い(価値観)などの違い。たとえば子どもに対してこうしたらよいのではないかといたりすると夫の親が出てきて自分が思っていることと正反対のことをいったりやったりするので、じゃ私がいってことかやったりすることは世間に対して通用しないことなのかな?と思ってしまうこと。(よく言われたりするので)・・・わたしのやっていることは全部間違っていることなのかと考えさせられる。 所見：以前(数年前)別居していたが上の子どもたちに虐待らしきことをしていたため、同居することになり、それから夫の両親が中心となり、育児してきたとのこと。子どもに対する接し方もあまり上手でなく、現在お啓待ということもないので、良い方向に改善していると思われるが、夫が味方になってくれないことからストレスになっているらしい。母の育児に対する思いを聴ける人が周囲にいないということから育児相談へ声をかけた。母同意。
202011	111321	育てやすい

付表6 育児不安1999年試案の面接<2歳児版>

patternは左から育児困難感Ⅰ, 育児困難感Ⅱ, 夫・父親・家庭, 夫の心身不調, 母親の不安・抑うつ, Difficult Baby

サンプル番号	Profile Pattern	面接 (主な訴え)
201001	542323	おちつきがない。夕食の時5分と座ってられない。(兄と) 所見: 母の方から夕食が遊び食べの原因は15時過ぎのおやつが多すぎるのでは、と。面接中も計測器具にのぼったり、よく動いているが母もよくみられている。

付表7 育児不安1999年試案の自由記述<3歳児以上版>

patternは左から育児困難感Ⅰ, 育児困難感Ⅱ, 夫・父親役割, Difficult Baby, 母親の抑うつ, 家庭機能, 夫の心身不調

サンプル番号	Profile Pattern	自由記述
310021	5454344	子どもたちは日々成長しており、親もまた、その成長にあった環境を作ってあげなければならぬ。
309018	4215312	イライラして怒ったらものを投げ出す。病気の時、薬を飲まない。
302012	3533434	自我が芽生え、何でも「自分で!」とやりたがるのを待ってやれず、イライラしてしまう。つい反抗させる口調(命令調)でヒステリーに怒ってしまう。できるくせにと思うと・・娘は赤ちゃんの頃のビデオを見た際、指がつかっていたので赤ちゃんになれなかったかと思ったのか、赤ちゃんになりたがるようになりました。(「おんごやー」といふ頃から甘えにくる)今のあなたもかかっていたのだと教えながら甘えさせています。 面接: 子どもがもっと自分でできるはずなのになぜやらないのか?等、思っしまい、イライラする。自分も大阪出身で近くに友達もおらず、ストレスを発散することができない。父親は子どものことをかかっていた夜の仕方のため一緒にいる時間がなく、母とふたりきりの場合が多い。そのせいか母への甘え強い。 所見: 母親自身、あまり深く物事を考えずにある程度割り切って一度子どもから離れた方がよい。継続して町でフォローしていく。
313007	4354442	子ども二人とも男の子ですが、今はまだ母親の言うことを聞いてくれるが中学・高校と成長するにつれ父親でなければダメなことが発生してきたときのことを考えると、夫はしっかり教育できるのだろうかとても不安です。
314001	5523444	小さいときから一番でか物かいる(いたずらかひどく、外出すれば迷子になる。)子で、最近少し、そういうことに関してはよくなってきたけれども、指しゃぶりが治りません。少し赤ちゃん返りすることもあり、本人に聞くと、淋しいということもあるので、そういうときは抱っこしてやったり、かまったりしてやりますが、3人兄弟の真ん中ということもあり、なかなかずつかまてやることができないので、よかれな情緒も不安定になっているんだらうな、ということもわかってはいてもなかなかかまてやれないし、兄弟げんかかひどいのでわたしの方が冷静でいられないことが多く、言葉の暴力を浴びせているような気がして、落ち込んだりします。
324004	5444544	言語の発達遅れなどいろいろ。小学校への進学のこと、特殊学級なのか、養護学級なのか、そのさきどうなるのかとか?体力が年齢と同じようについてきて理解力がいっかなくて危険な行動が増えるのではないかと書ききれないほどです。

付表8 育児不安1999年試案の面接<3歳児以上版>

patternは左から育児困難感Ⅰ, 育児困難感Ⅱ, 夫・父親役割, Difficult Baby, 母親の抑うつ, 家庭機能, 夫の心身不調

サンプル番号	Profile Pattern	面接 (主な訴え)
306002	5523532	現在通園中の保育園の先生から乱暴、行儀の悪さなど指摘され「もう手遅れ」のようにいすれ母としてはショック大きく、落ち込む。本児も保育園を嫌っているが、来年4月より、幼稚園へと考えているが、それまでの間、何とか本児の行動を改めたいと思うが、どうしたらよいかとの思い。 所見: 子どもを持つことに対しては望んでいなかったが調子のすめで妊娠。そのときから後悔をはじめ、生まれてからも少しも可愛いと思えず、叱ってばかりいたとのこと。早くからカウンセリングを受けるようにすすめられもしたがみきれず、1歳半頃より、本児を保育園へ入れ働き始めた。保育園は現在が3園目。ここへきてやっと母は何かしなくてはと思いはじめている様子。(愛育)相談所をすすめる。(母子それぞれへの援助をと考え)
302017	4453343	子どもが3人いるのでけんかしたとき一番上の子を叱ってしまう。上の子は「何で自分ばかり叱られるのか」というが、つい言って分かる年代の子を叱ってしまうとのこと。 所見: けんかするのも子どもの成長には必要なこと。上の子だけでなく下の子もたいぶ物事を理解できるようになってきているのでなぜ、叱られるのかを話しながら全員を叱ってみては。
302009	3433332	以前より下の子を愛せないと感じていた。生まれたとき、また、同じ育児の繰り返しかと喜ばなかった。円形脱毛症になった本児をみて最近保育園をすすめたり、健診のために何回も自分の名前を言わせたことが強くなってきている。誰かと相談して良いが、分からなかったが、健診の通知がききまわった。夫の仕事の関係でまたまこの町にいただけ。いすれ離れるので人間関係も積極的になれない。(上の子は小学生)姉と話していても夫と話していても本児はいつも割り込んできて邪魔しようとする。 所見: 本児もお母さんにとってとても大切な子どもなんだと思わせることが大切。ほめてあげる。(今日まで虫歯がないことや健診でちゃんとかかっていたことなど)本児の名前を呼んであげる。(意識的に)保育園後でも入れるのでまず家族皆が本児と接する時間を大切に。2月末まで様子みて3/9心理相談うけることにする。親と子のニコニコクラブで他の親と交流を図り本児のことにも参加する。いつでも保健センターに遊びに来る感覚で保健婦の所に相談にくることとした。
302006	3543414	子どもが自立心が強く何か思い通りにできないとすぐイライラして涙ぐむ。 所見: 自分でやろうとする気持ちを認め、上手にできたときおほめて少しずつ自信をつけさせる。できないときでも「こーすればいいんじゃない?」等、少し手助けし、次は自分で試していく。

子ども総研式・育児支援質問紙 ＜0～11ヶ月児用＞

子どもが心身共にすこやかに育つには、子ども自身の自発的な力とそれを支える環境がとても大切です。そこで、お母さんやご家族の育児のお手伝いをするを目的にこの質問紙を作りました。お役に少しでも立てることを願っています。

＜回答の仕方＞

次のページからの質問項目に、お考えやお気持ちに近いものをいずれか1つだけ選んで番号に○をつけてください。どちらとも決められず、迷うこともあるかと思いますが必ずどれか1つにお答えください。

恩賜財団母子愛育会
日本子ども家庭総合研究所・愛育相談所

1. 育児の印象について

1. 育児に自信が持てない
2. 子どものことでどうしたらよいかわからない
3. 子どものことは理解できている
4. どのようにしつけたらよいかわからない
5. 母親として不適格と感じる
6. 子育てに困難を感じる
7. 子どもをうまく育てている
8. 育児についていろいろ心配なことがある
9. 子どものことがわずらわしくてイライラする
10. 子どもを虐待しているのではないかと思う
11. 子どもがかわいいと思えないことがある
12. 子どもに八つ当たりしては、反省して落ち込む

はい	ややはい	ややいいえ	いいえ
4	3	2	1
4	3	2	1
1	2	3	4
4	3	2	1
4	3	2	1
4	3	2	1
1	2	3	4
4	3	2	1
4	3	2	1
4	3	2	1
4	3	2	1
4	3	2	1

RS	SS

2. お父さんやご家族について

1. 夫は私や子どものためにとでもよくしてくれる
2. 夫は精神的に私を支えてくれている
3. 父親としての自覚が足りない
4. 夫は子育ての大変さなど私の苦勞をわかっていない
5. 家庭内に関する事柄について夫には期待できない
6. 夫は育児のことで相談にのってくれる
7. 夫は子どもとよく遊び、面倒見がよい
8. 夫と気持ちが通じ合っている
9. 夫は子どもに関心がない
10. 夫は仕事や趣味だけに打ち込んでいる
11. 夫は子どもをどのように扱ったらよいかわからない
12. この人と結婚して幸せである
13. 夫と話し合う時間が少ない
14. 家族は子育ての大変さを理解してくれない
15. 家族は私の趣味や仕事を理解し、協力してくれる
16. 家族としてのまとまりを感じる
17. 子どもは父親になついでいない
18. 家庭の中がしっくりいかない
19. 妊娠中、夫や家族の理解が得られなくて大変だった
20. 夫は家事や育児に消極的である
21. 夫は幸せな気分で過ごしている

はい	ややはい	ややいいえ	いいえ
1	2	3	4
1	2	3	4
4	3	2	1
4	3	2	1
4	3	2	1
1	2	3	4
1	2	3	4
1	2	3	4
4	3	2	1
4	3	2	1
4	3	2	1
4	3	2	1
4	3	2	1
1	2	3	4
4	3	2	1
4	3	2	1
4	3	2	1
4	3	2	1
1	2	3	4

RS	SS

3. ご自身のようすについて

1. 気が減入る
2. 不安や恐怖感におそわれる

はい	ややはい	ややいいえ	いいえ
4	3	2	1
4	3	2	1

- | | | | | |
|---------------------------------|----|------|------|-----|
| | はい | ややいい | やや悪い | いいえ |
| 3. 悲観的になりやすい | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4. とても心配性であれこれ気に病む | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5. 精神的に不調である | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 6. 何ともいえず淋しい気持ちにおそわれることがある | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 7. いてもたってもいられないほど落ち着かない | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 8. 何事にも敏感に感じすぎてしまう | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 9. おこりっぽい | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 10. イライラしている | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 11. 楽天的でよくよ考えない | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 12. 出産後、気持ちが沈み、おっくうで何もする気がしなかった | 4 | 3 | 2 | 1 |

RS	SS

- | | | | | |
|----------------------------|----|------|------|-----|
| | はい | ややいい | やや悪い | いいえ |
| 4. あなたからみた夫のようすについて | | | | |
| 1. 精神的に不調である | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2. イライラしている | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3. 精神的にゆとりがない | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4. 沈みがち | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5. 悲観的である | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 6. 眠れない | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 7. 淋しそう | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 8. 仕事がうまくいっていない | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 9. 仕事に行きたがらなかつたり、やる気を失っている | 4 | 3 | 2 | 1 |

RS	SS

- | | | | | |
|---|----|------|------|-----|
| | はい | ややいい | やや悪い | いいえ |
| 5. 赤ちゃんのとき（生まれてから半年ぐらいまで）、お子さんはどのような赤ちゃんですか（でしたか） | | | | |
| 1. よく泣いてなだめにくい | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2. わけもわからず泣く | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3. あまり眠らない | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4. 抱っこや外に連れ出すなどねむるまでに手がかかる | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5. 一晩に何回も起こされる | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 6. おとなしく手がかからない | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 7. 一日の生活リズムが一定しない | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 8. 夜泣きがひどい | 4 | 3 | 2 | 1 |

RS	SS

- | | | | | |
|---------------------------|----|------|------|-----|
| | はい | ややいい | やや悪い | いいえ |
| 6. お子さんについて | | | | |
| 1. いつも元気である | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. 心配になる行動がある | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3. 指しゃぶりがあ | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4. ミルク飲みが悪かつたり、離乳食をいやがるなど | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5. 夜泣きがある | 4 | 3 | 2 | 1 |

- | | | | | |
|------------------|----|------|------|-----|
| | はい | ややいい | やや悪い | いいえ |
| 6. おびえたり、ひどくこわがる | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 7. 活発で生きいきしている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 8. 機嫌が変わりやすい | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 9. 慢性的な病気があ | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 10. 発達の全般的な遅れがあ | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 11. ひとみしりが強い | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 12. かんしゃくをよく起こす | 4 | 3 | 2 | 1 |

7. お子さんについて困っていることや心配なこと、相談したいことがあればお書きください

[補足質問] *

- お子さんのお名前 _____ 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日生 満 _____ ケ月
- お子さんは _____ 番目 1. 男の子 2. 女の子
- あなたのお名前 _____ 年齢 _____ 歳
- お父さんの年齢 _____ 歳
- お子さんは _____ 人
- 同居しているのは
 - 夫
 - 夫<単身赴任中>
 - 自分の父親
 - 自分の母親
 - 夫の父親
 - 夫の母親
 - その他 ()
- お子さんの昼間の主な養育者は（一つだけ○をつけてください）
 - 母親
 - 保育所
 - 祖父母
 - その他 ()
- あなたのお仕事は（一つだけ○をつけてください）
 - 主婦
 - フルタイム（常勤）
 - パート・アルバイト
 - 自営
 - 休職中
 - その他 ()
- 妊娠、出産の状態について
 - 妊娠中の異常（1. なし 2. あり<具体的に _____>）
 - 妊娠週数（ _____ ）週
 - 分娩中の異常（1. なし 2. あり<具体的に _____>）
 - 出産直後の異常（1. なし 2. あり<具体的に _____>）
 - 出生体重（ _____ ）g
 - 新生児期の異常（1. なし 2. あり<具体的に _____>）
 - 生後1ヶ月以降の異常（1. なし 2. あり<具体的に _____>）

*お名前の記載を望まない方は、無記入にしてください。
<子ども総研式・育児支援質問紙ミレニアム版>

子ども総研式・育児支援質問紙 <1歳児用>

子どもが心身共にすこやかに育つには、子ども自身の自発的な力とそれを支える環境がとても大切です。そこで、お母さんやご家族の育児のお手伝いをするを目的にこの質問紙を作りました。お役に少しでも立てることを願っています。

<回答の仕方>

次のページからの質問項目に、お考えやお気持ちに近いものをいずれか1つだけ選んで番号に○をつけてください。どちらとも決められず、迷うこともあるかと思いますが必ずどれか1つにお答えください。

恩賜財団母子愛育会
日本子ども家庭総合研究所・愛育相談所

1. 育児の印象について

A.

- 育児に自信が持てない
- 子どもをうまく育てている
- 子どものことでどうしたらよいかわからない
- どのようにしついたらよいかわからない
- 育児についていろいろ心配なことがある
- 母親として不適格と感じる
- 子どものことは理解できている
- 子育てに困難を感じる

- | はい | ややはい | ややいいえ | いいえ |
|----|------|-------|-----|
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |

RS	SS

B.

- 子どもに八つ当たりしては、反省して落ち込む
- 子どもを虐待しているのではないかと思う
- 子どもは何で叱られているのかわからないのに叱ってしまう
- 私はおこりっぽい
- 私はイライラしている
- 子どものことがわずらわしくてイライラする
- 母親として不適格と感じる

- | はい | ややはい | ややいいえ | いいえ |
|----|------|-------|-----|
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |

RS	SS

2. お父さんやご家族について

- 夫は私や子どものためにとてもよくしてくれる
- 夫は育児のことで相談にのってくれる
- 夫は仕事や趣味だけに打ち込んでいる
- 夫は精神的に私を支えてくれている
- 父親としての自覚が足りない
- 家庭内に関する事柄について夫には期待できない
- 夫は子育ての大変さなど私の苦勞をわかっていない
- 夫は子どもとよく遊び、面倒見がよい
- この人と結婚して幸せである
- 夫と気持ちが通じ合っている
- 夫はほとんど家にはいない
- 夫は子どもに関心がない
- 夫と話し合う時間が少ない
- 夫は家事や育児に消極的である
- 家族としてのまとまりを感じる
- 夫は子どもをどのように扱ったらよいかわからない
- 夫は幸せな気分で過ごしている

- | はい | ややはい | ややいいえ | いいえ |
|----|------|-------|-----|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 1 | 2 | 3 | 4 |

RS	SS

3. あなたからみた夫のようすについて

1. 沈みがち
2. 精神的に不調である
3. 仕事に行きたがらなかったり、やる気を失っている
4. 悲観的である
5. 仕事がうまくいっていない
6. 淋しそう
7. 生きいきしている

- | | | | |
|----|------|------|-----|
| はい | ややいい | やや悪い | いいえ |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 1 | 2 | 3 | 4 |

RS	SS

4. ご自身のようすについて

1. 心配性であれこれ気に病む
2. 何事にも敏感に感じすぎてしまう
3. 楽天的でよくよく考えない
4. 悲観的になりやすい
5. 気が滅入る

- | | | | |
|----|------|------|-----|
| はい | ややいい | やや悪い | いいえ |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |

RS	SS

5. ご家族について

1. 家庭の中がしっくりいかない
2. 何かと、家庭内にもめごとが起こる
3. 家庭には私の居場所がない
4. 家庭内に心配事がある
5. 家族としてのまとまりを感じる

- | | | | |
|----|------|------|-----|
| はい | ややいい | やや悪い | いいえ |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 1 | 2 | 3 | 4 |

RS	SS

6. 赤ちゃんのとき（生まれてから半年ぐらいまで）、お子さんはどのような赤ちゃんでしたか

1. よく泣いてなだめにくい
2. あまり眠らない
3. 抱っこや外に連れ出すなどねむるまでに手がかかる
4. 一日の生活リズムが一定しない
5. 一晩に何回も起こされる
6. おとなしく手がかららない
7. わけもわからず泣く

- | | | | |
|----|------|------|-----|
| はい | ややいい | やや悪い | いいえ |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |

RS	SS

7. お子さんについて

1. いつも元気で明るい
2. 心配になる行動やくせがある
3. 指しゃぶりや爪かみがある
4. 偏食・小食・乳離れしないなどの食事の問題がある
5. 夜泣きがある

- | | | | |
|----|------|------|-----|
| はい | ややいい | やや悪い | いいえ |
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |

6. おびえたり、ひどくこわがる
7. とても落ち着きがない
8. 活発で生きいきしている
9. おこりっぽい
10. 機嫌が変わりやすい
11. 慢性的な病気がある
12. 発達的全般的な遅れがある
13. ひとみしりが強い
14. かんしゃくをよく起こす
15. 乱暴
16. ことばの発達が遅れている

- | | | | |
|----|------|------|-----|
| はい | ややいい | やや悪い | いいえ |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 2 | 1 |

8. お子さんについて困っていることや心配なこと、相談したいことがあればお書きください

[補足質問] *

1. お子さんのお名前 _____ 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日生 満 _____ 歳 _____ ケ月
2. お子さんは _____ 番目 1. 男の子 2. 女の子
3. あなたのお名前 _____ 年齢 _____ 歳
4. お父さんの年齢 _____ 歳
5. お子さんは _____ 人
6. 同居しているのは
 1. 夫 2. 夫<単身赴任中> 3. 自分の父親 4. 自分の母親 5. 夫の父親 6. 夫の母親
 7. その他 (_____)
7. お子さんの昼間の主な養育者は (1つだけ○をつけてください)
 1. 母親 2. 保育所 3. 祖父母 4. その他 (_____)
8. あなたのお仕事は (1つだけ○をつけてください)
 1. 主婦 2. フルタイム (常勤) 3. パート・アルバイト 4. 自営 5. 休職中
 6. その他 (_____)
9. 妊娠、出産の状態について
 1. 妊娠中の異常 (1. なし 2. あり<具体的に _____>)
 2. 妊娠週数 (_____) 週
 3. 分娩中の異常 (1. なし 2. あり<具体的に _____>)
 4. 出産直後の異常 (1. なし 2. あり<具体的に _____>)
 5. 出生体重 (_____) g
 6. 新生児期の異常 (1. なし 2. あり<具体的に _____>)
 7. 生後1ヶ月以降の異常 (1. なし 2. あり<具体的に _____>)

*お名前の記載を望まない方は、無記入にしてください。
<子ども総研式・育児支援質問紙ミレニアム版>

子ども総研式・育児支援質問紙 ＜2歳児用＞

子どもが心身共にすこやかに育つには、子ども自身の自発的な力とそれを支える環境がとても大切です。そこで、お母さんやご家族の育児のお手伝いをするを目的にこの質問紙を作りました。お役に少しでも立てることを願っています。

＜回答の仕方＞

次のページからの質問項目に、お考えやお気持ちに近いものをいずれか1つだけ選んで番号に○をつけてください。どちらとも決められず、迷うこともあるかと思いますが必ずどれか1つにお答えください。

恩賜財団母子愛育会
日本子ども家庭総合研究所・愛育相談所

1. 育児の印象について

A

1. 育児に自信が持てない
2. 子どものことでどうしたらよいかわからない
3. どのようにしつけたらよいかわからない
4. 子どもをうまく育てている
5. 育児についていろいろ心配なことがある
6. 母親として不適格と感じる

- | | | | |
|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| はい | ややはい | ややはい | いいえ |
| 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 | 1-----2-----3-----4 |
| 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 |
| 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 |

RS	SS

B

1. 子どもは何で叱られているかわからないのに叱ってしまう
2. とめどなく叱ってしまう
3. 子どもに八つ当たりしては、反省して落ち込む
4. 子どものことを許せない
5. 私はおこりっぽい
6. 子どもを虐待しているのではないかと思う

- | | | | |
|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| はい | ややはい | ややはい | いいえ |
| 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 | 1-----2-----3-----4 |
| 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 | 1-----2-----3-----4 |
| 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 | 1-----2-----3-----4 |
| 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 | 1-----2-----3-----4 |

RS	SS

2. お父さんやご家族について

1. 夫は私や子どものためによくしてくれる
2. 夫は精神的に私を支えてくれている
3. 夫は育児のことで相談のつてくれる
4. この人と結婚して幸せである
5. 夫と気持ちが通じ合っている
6. 家庭内に関する事柄について夫には期待できない
7. 父親としての自覚が足りない
8. 夫は子育ての大変さなど私の苦勞をわかっていない
9. 夫は子どもをどのように扱ったらよいかわからない
10. 夫は子どもに関心がない
11. 夫は仕事や趣味だけに打ち込んでいる
12. 夫は子どもとよく遊び、面倒見がよい
13. 夫と話し合う時間が少ない
14. 家族としてのまとまりを感じる
15. 夫は家事や育児に消極的である
16. 妊娠中、夫や家族の理解が得られなくて大変だった
17. 家庭の中がしっくりいかない

- | | | | |
|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| はい | ややはい | ややはい | いいえ |
| 1-----2-----3-----4 | 1-----2-----3-----4 | 1-----2-----3-----4 | 1-----2-----3-----4 |
| 1-----2-----3-----4 | 1-----2-----3-----4 | 1-----2-----3-----4 | 1-----2-----3-----4 |
| 1-----2-----3-----4 | 1-----2-----3-----4 | 1-----2-----3-----4 | 1-----2-----3-----4 |
| 1-----2-----3-----4 | 1-----2-----3-----4 | 1-----2-----3-----4 | 1-----2-----3-----4 |
| 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 |
| 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 |
| 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 |
| 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 |
| 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 |
| 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 |
| 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 |
| 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 |

RS	SS

3. あなたからみた夫のようすについて

1. 精神的に不調である
2. 精神的にゆとりがない
3. 仕事があまくいっていない

- | | | | |
|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| はい | ややはい | ややはい | いいえ |
| 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 | 1-----2-----3-----4 |
| 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 | 1-----2-----3-----4 |
| 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 | 4-----3-----2-----1 | 1-----2-----3-----4 |

- 4. 悲観的である
- 5. 沈みがち
- 6. 仕事に行きたがらなかったり、やる気を失っている
- 7. イライラしている
- 8. 居場所がない
- 9. 眠れない

はい	ややはい	ややいいえ	いいえ
4	3	2	1
4	3	2	1
4	3	2	1
4	3	2	1
4	3	2	1
4	3	2	1

RS	SS

4. ご自身のようすについて

- 1. とても心配性であれこれ気に病む
- 2. 悲観的である
- 3. 何事にも敏感に感じすぎてしまう
- 4. 楽天的でよくよ考えない
- 5. 気が滅入る
- 6. 不安や恐怖感におそわれる
- 7. 何ともいえず淋しい気持ちにおそわれる
- 8. イライラしている

はい	ややはい	ややいいえ	いいえ
4	3	2	1
4	3	2	1
4	3	2	1
1	2	3	4
4	3	2	1
4	3	2	1
4	3	2	1
4	3	2	1

RS	SS

5. 赤ちゃんのとき（生まれてから半年ぐらいまで）、お子さんはどのような赤ちゃんでしたか

- 1. よく泣いてなだめにくかった
- 2. あまり眠らなかった
- 3. 抱っこや外に連れ出すなどねむるまでに手がかかった
- 4. 一晩に何回も起こされた
- 5. おとなしく手がかからなかった
- 6. 一日の生活リズムが一定しなかった
- 7. わけもわからず泣いた

はい	ややはい	ややいいえ	いいえ
4	3	2	1
4	3	2	1
4	3	2	1
4	3	2	1
1	2	3	4
4	3	2	1
4	3	2	1

RS	SS

6. お子さんについて

- 1. いつも元気で明るい
- 2. 心配になる行動やくせがある
- 3. 指しゃぶりや爪かみがある
- 4. 偏食・小食・過食などの食事の問題がある
- 5. 夜泣きがある
- 6. おびえたり、ひどくこわがる
- 7. とても落ち着きがない
- 8. 活発で生きいきしている
- 9. おこりっぽい
- 10. 機嫌が変わりやすい

はい	ややはい	ややいいえ	いいえ
1	2	3	4
4	3	2	1
4	3	2	1
4	3	2	1
4	3	2	1
4	3	2	1
4	3	2	1
1	2	3	4
4	3	2	1
4	3	2	1

- 11. 慢性的な病気がある
- 12. 発達的全般的な遅れがある
- 13. ひとみしりが強い
- 14. かんしゃくをよく起こす
- 15. 目をパチパチさせるくせがある
- 16. どもるくせがある
- 17. 子どもとうまく遊べない
- 18. 子どもの中に入れない
- 19. 乱暴
- 20. ことばの発達が遅れている

はい	ややはい	ややいいえ	いいえ
4	3	2	1
4	3	2	1
4	3	2	1
4	3	2	1
4	3	2	1
4	3	2	1
4	3	2	1
4	3	2	1
4	3	2	1
4	3	2	1
4	3	2	1
4	3	2	1
4	3	2	1
4	3	2	1

21. 外では話をしない

7. お子さんについて困っていることや心配なこと、相談したいことがあればお書きください

〔補足質問〕*

- 1. お子さんのお名前 _____ 平成 ____年 ____月 ____日生 満 ____歳 ____ヶ月
- 2. お子さんは ____番目 1. 男の子 2. 女の子
- 3. あなたのお名前 _____ 年齢 ____歳
- 4. お父さんの年齢 ____歳
- 5. お子さんは ____人
- 6. 同居しているのは
 - 1. 夫 2. 夫<単身赴任中> 3. 自分の父親 4. 自分の母親 5. 夫の父親 6. 夫の母親
 - 7. その他 (_____)
- 7. お子さんの昼間の主な養育者は (1つだけ○をつけてください)
 - 1. 母親 2. 保育所 3. 祖父母 4. その他 (_____)
- 8. あなたのお仕事は (1つだけ○をつけてください)
 - 1. 主婦 2. フルタイム (常勤) 3. パート・アルバイト 4. 自営 5. 休職中
 - 6. その他 (_____)

9. 妊娠、出産の状態について

- 1. 妊娠中の異常 (1. なし 2. あり<具体的に _____>)
- 2. 妊娠週数 (_____) 週
- 3. 分娩中の異常 (1. なし 2. あり<具体的に _____>)
- 4. 出産直後の異常 (1. なし 2. あり<具体的に _____>)
- 5. 出生体重 (_____) g
- 6. 新生児期の異常 (1. なし 2. あり<具体的に _____>)
- 7. 生後1ヶ月以降の異常 (1. なし 2. あり<具体的に _____>)

*お名前の記載を望まない方は、無記入にしてください。
 <子ども総研式・育児支援質問紙ミレニウム版>

子ども総研式・育児支援質問紙 <3～6歳児用>

子どもが心身共にすこやかに育つには、子ども自身の自発的な力とそれを支える環境がとても大切です。そこで、お母さんやご家族の育児のお手伝いをするを目的にこの質問紙を作りました。お役に少しでも立てることを願っています。

<回答の仕方>

次のページからの質問項目に、お考えやお気持ちに近いものをいずれか1つだけ選んで番号に○をつけてください。どちらとも決められず、迷うこともあるかと思いますが必ずどれか1つにお答えください。

恩賜財団母子愛育会
日本子ども家庭総合研究所・愛育相談所

1. 育児の印象について

A.

- 育児に自信が持てない
- 母親として不適格と感じる
- 子どもをうまく育てている
- どのようにしつけたらよいかわからない
- 育児についていろいろ心配なことがある
- 子どものことでどうしたらよいかわからない
- 子育てに困難を感じる
- 子どものことは理解できている
- 子どものことがわずらわしくてイライラする
- よその子どもと比べて落ち込んだり自信をなくす
- 子どもを育てることが負担である

はい	ややはい	ややいい	いいえ
4	3	2	1
4	3	2	1
1	2	3	4
4	3	2	1
4	3	2	1

はい	ややはい	ややいい	いいえ
4	3	2	1
4	3	2	1
1	2	3	4
4	3	2	1
4	3	2	1

はい	ややはい	ややいい	いいえ
4	3	2	1

RS	SS

B.

- とめどなく叱ってしまう
- 子どもに八つ当たりしては、反省して落ち込む
- 私はおこりっぽい
- 私はイライラしている
- 子どもは何で叱られているかわからないのに叱ってしまう
- 子どもを虐待しているのではないかと思う
- 子どものことがわずらわしくてイライラする

はい	ややはい	ややいい	いいえ
4	3	2	1
4	3	2	1
4	3	2	1
4	3	2	1
4	3	2	1
4	3	2	1

はい	ややはい	ややいい	いいえ
4	3	2	1
4	3	2	1

RS	SS

2. お父さんやご家族について

- 父親としての自覚が足りない
- 夫は私や子どものためによくしてくれる
- 夫は子どもとよく遊び、面倒見がよい
- 夫は子どもにあまり関心がない
- 夫は子育ての大変さなど私の苦勞をわかっていない
- 夫は子どもをどのように扱ったらよいかわからない
- 夫は育児のことで相談のってくれる
- 家庭内に関する事柄について夫には期待できない
- 夫は仕事や趣味だけに打ち込んでいる
- 夫は家事や育児に消極的である
- 夫は精神的に私を支えてくれている
- この人と結婚して幸せである
- 夫と気持ちが通じ合っている
- 夫と話し合う時間が少ない
- 家族としてのまとまりを感じる
- 家庭の中がしっくりこない

はい	ややはい	ややいい	いいえ
4	3	2	1
1	2	3	4
1	2	3	4
4	3	2	1
4	3	2	1

はい	ややはい	ややいい	いいえ
4	3	2	1
1	2	3	4
4	3	2	1
4	3	2	1
4	3	2	1

はい	ややはい	ややいい	いいえ
1	2	3	4
1	2	3	4
1	2	3	4
4	3	2	1
1	2	3	4

はい	ややはい	ややいい	いいえ
4	3	2	1

RS	SS

3. ご自身のようすについて

- 心配性であれこれ気に病む
- 何事にも敏感に感じすぎてしまう
- 不安や恐怖感におそわれる
- 楽天的でよくよ考えない
- 悲観的である

はい	ややはい	ややいい	いいえ
4	3	2	1
4	3	2	1
4	3	2	1
1	2	3	4
4	3	2	1

6. 気が滅入る
7. 何ともいえず淋しい気持ちにおそわれる

はい 中出し 中出し いいえ
4 --- 3 --- 2 --- 1
4 --- 3 --- 2 --- 1

RS	SS

4. ご家族について

1. 家庭の中がしっくりいかない
2. 何かと、家庭内にもめごとが起こる
3. 家族の中で私だけがつらい思いをしている
4. 家族は子育ての大変さを理解してくれない
5. 家庭には私の居場所がない

6. しゅうとめなどの家族に干渉される
7. 家族としてのまとまりを感じる

はい 中出し 中出し いいえ
4 --- 3 --- 2 --- 1
4 --- 3 --- 2 --- 1
4 --- 3 --- 2 --- 1
4 --- 3 --- 2 --- 1
4 --- 3 --- 2 --- 1
4 --- 3 --- 2 --- 1
1 --- 2 --- 3 --- 4

RS	SS

5. あなたからみた夫のようすについて

1. 沈みがち
2. 淋しそう
3. 悲観的である
4. 居場所がない
5. 精神的に不調である

6. 仕事に行きたがらなかったり、やる気を失っている
7. 眠れない

はい 中出し 中出し いいえ
4 --- 3 --- 2 --- 1
4 --- 3 --- 2 --- 1
4 --- 3 --- 2 --- 1
4 --- 3 --- 2 --- 1
4 --- 3 --- 2 --- 1
4 --- 3 --- 2 --- 1
4 --- 3 --- 2 --- 1

RS	SS

6. 赤ちゃんのとき（生まれてから半年ぐらいまで）、お子さんはどのような赤ちゃんでしたか

1. よく泣いてなだめにくかった
2. あまり眠らなかった
3. 抱っこや外に連れ出すなどねむるまでに手がかかった
4. 一晩に何回も起こされた
5. わけもわからず泣いた

6. 一日の生活リズムが一定しなかった
7. おとなしく手がかからなかった

はい 中出し 中出し いいえ
4 --- 3 --- 2 --- 1
4 --- 3 --- 2 --- 1
4 --- 3 --- 2 --- 1
4 --- 3 --- 2 --- 1
4 --- 3 --- 2 --- 1
4 --- 3 --- 2 --- 1
1 --- 2 --- 3 --- 4

RS	SS

7. お子さんについて

1. いつも元気で明るい
2. 心配になる行動やくせがある
3. 指しゃぶりや爪かみがある
4. 偏食・小食・過食などの食事の問題がある
5. 夜泣きがある

6. おびえたり、ひどくこわがる
7. とても落ち着きがない
8. 活発で生きいきしている
9. おこりっぽい
10. 機嫌が変わりやすい

11. 保育園や幼稚園に行くのをいやがる
12. 慢性的な病気になる
13. 発達的全般的な遅れがある

はい 中出し 中出し いいえ
1 --- 2 --- 3 --- 4
4 --- 3 --- 2 --- 1
4 --- 3 --- 2 --- 1
4 --- 3 --- 2 --- 1
4 --- 3 --- 2 --- 1
4 --- 3 --- 2 --- 1
1 --- 2 --- 3 --- 4
4 --- 3 --- 2 --- 1
4 --- 3 --- 2 --- 1
4 --- 3 --- 2 --- 1
4 --- 3 --- 2 --- 1
4 --- 3 --- 2 --- 1
4 --- 3 --- 2 --- 1
4 --- 3 --- 2 --- 1

RS	SS

14. ひとみしりが強い
15. かんしゃくをよく起こす

はい 中出し 中出し いいえ
4 --- 3 --- 2 --- 1
4 --- 3 --- 2 --- 1

16. 目をパチパチさせるくせがある
17. どもるくせがある
18. 遊ぶ友だちが少ない
19. 友だちとうまく遊べない
20. 子どもの中に入れない

4 --- 3 --- 2 --- 1
4 --- 3 --- 2 --- 1
4 --- 3 --- 2 --- 1
4 --- 3 --- 2 --- 1
4 --- 3 --- 2 --- 1

21. 乱暴
22. おしっこ・うんちの始末ができない
23. ことばの発達が遅れている
24. 発音がはっきりしない
25. 外では話をしない

4 --- 3 --- 2 --- 1
4 --- 3 --- 2 --- 1
4 --- 3 --- 2 --- 1
4 --- 3 --- 2 --- 1
4 --- 3 --- 2 --- 1

8. お子さんについて困っていることや心配なこと、相談したいことがあればお書きください

【補足質問】*

1. お子さんのお名前 _____ 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日生 満 _____ 歳 _____ ヶ月
2. お子さんは _____ 番目 1. 男の子 2. 女の子
3. あなたのお名前 _____ 年齢 _____ 歳
4. お父さんの年齢 _____ 歳
5. お子さんは _____ 人
6. 同居しているのは
1. 夫 2. 夫<単身赴任中> 3. 自分の父親 4. 自分の母親 5. 夫の父親 6. 夫の母親
7. その他 (_____)
7. お子さんの昼間の主な養育者は (1つだけ○をつけてください)
1. 母親 2. 保育所<幼稚園は1に○> 3. 祖父母 4. その他 (_____)
8. あなたのお仕事は (1つだけ○をつけてください)
1. 主婦 2. フルタイム (常勤) 3. パート・アルバイト 4. 自営 5. 休職中
6. その他 (_____)
9. 妊娠、出産の状態について
1. 妊娠中の異常 (1. なし 2. あり<具体的に _____ >)
2. 妊娠週数 (_____) 週
3. 分娩中の異常 (1. なし 2. あり<具体的に _____ >)
4. 出産直後の異常 (1. なし 2. あり<具体的に _____ >)
5. 出生体重 (_____) g
6. 新生児期の異常 (1. なし 2. あり<具体的に _____ >)
7. 生後1ヶ月以降の異常 (1. なし 2. あり<具体的に _____ >)

*お名前のご記載を望まない方は、無記入にしてください。
<子ども総研式・育児支援質問紙ミレニアム版>